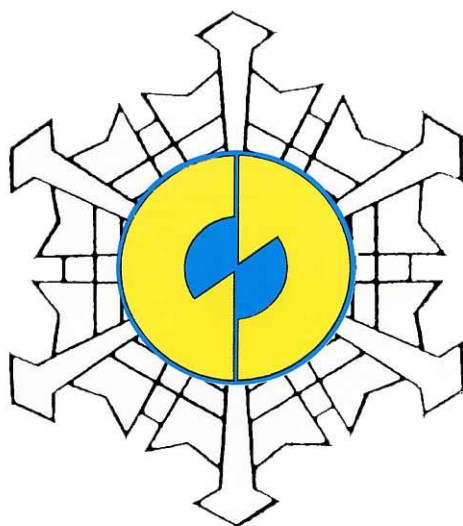


# 消 防 年 報

令和元年版



仲多度南部消防組合消防本部

令和2年刊行



## は し が き

1. この年報は、令和元年中における仲多度南部消防組合の業務に関する諸般の事項についてその実態を集録し、広く紹介するとともに将来の防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災統計・救急救助統計、その他の事項については特に年月日を記載していないものはすべて暦年としました。

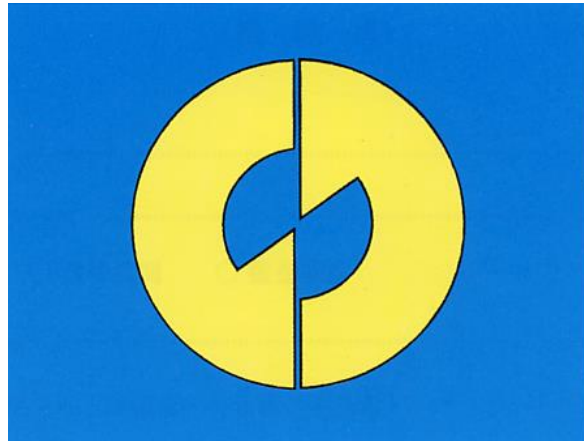
令和2年8月

仲多度南部消防組合  
消 防 本 部



# 組 合 章

(平成8年6月制定)



## 意 義

仲多度南部消防組合の「仲多度」と「南部」の頭文字「ナ」の二文字を江戸時代の町火消しより纏と共に広く大衆に親しまれている「鳶口」でデザイン化することにより、消防の組織を強調すると共に、丸く太い二本の鳶口でもって構成二町相互間の厚い信頼と団結を意味し、一致協力して水火災等の災害から住民の生命、身体及び財産の保護を任務とする当消防組合設立の目的を組合章として表現するものである。



# 目 次

## は し が き 組 合 章

### 〈 組 織 編 〉

■ 構成町の町章等	3
■ 執行機関及び議決機関	4
○ 執行機関 ○ 議決機関 ○ 監査委員	
■ 管内位置	5
■ 構成町勢2町(琴平町・まんのう町)	5
■ 消防庁舎概要	6
○ 建築概要 ○ 設備概要	
■ 組織図	7
■ 消防本部の事務分掌	8
■ 消防署の事務分掌	10
■ 消防の沿革	11

### 〈 総 務 編 〉

■ 消防組合令和元年度決算状況	21
■ 職員配置状況	22
■ 職員の勤続年数	22
■ 職員教育課程修了状況	23
■ 各種資格・免許等取得状況	23

〈 予 防 編 〉

■ 防火対象物	27
○ 項別（用途区分別）とは	
○ 特定用途防火対象物とは	
■ 予防査察	28
■ 防火対象物定期点検報告制度	28
■ 防火管理	29
○ 防火管理の状況	
○ 特定用途防火対象物の訓練状況	
■ 消防同意	30
○ 建築確認申請指導状況	
■ 消防用設備等の設置	31
○ 主な消防用設備等の設置状況	
■ 消防用設備等の点検制度	31
○ 点検報告済防火対象物件数	
■ 危険物の規制	32
○ 貯蔵取扱・類別件数	
○ 倍数別件数	
■ 届出等に基づく審査・検査等事務	33
○ 届出等の受理状況	

〈 警 防 編 〉

■ 消防車両の現況	37
■ 消防装備一覧（抜粋）	38
■ 過去10年間事故別件数・出場延べ人員	39
■ 消防水利状況	40



〈 災 害 統 計 編 〉

■ 火災の概況	4 3
○ 出火件数	
○ 死傷者	
○ 損害額	
■ 町別・月別火災件数	4 4
■ 種類別・月別火災件数	4 4
■ 町別の火災概況	4 5
■ 町別・種類別火災件数	4 6
■ 町別・月別火災損害額	4 6
■ 曜日別・月別火災件数	4 7
■ 火災の比較概要	4 8
■ 過去10年間火災の推移	4 9
■ 過去10年間出火原因の推移	5 0
■ 救急統計	5 1
○ 救急出場件数及び搬送人員	
○ 事故種別件数及び搬送人員	
■ 町別救急件数	5 2
■ 事故種別救急件数	5 3
■ 不搬送件数状況	5 4
■ 現場到着及び収容所要時間状況	5 5
■ 過去10年間の町別救急推移	5 6
■ 過去10年間の事故種別救急推移	5 7
■ 応急処置件数	5 8
■ 応急手当等の普及啓発活動	5 9
○ 応急手当実施要綱に基づく講習等の状況	
○ 応急手当普及啓発活動実施状況（過去5年間）	
■ 救助統計	6 0
○ 救助出場件数及び救助人員	
○ 事故種別件数	
○ 町別救助件数	
■ 事故種別救助件数	6 1
■ 過去10年間の救助件数推移	6 2

〈 通 信 指 令 課 編 〉

■ 消防通信系統図	6 5
■ 無線施設状況	6 6
○ デジタル無線関係	
○ 署活無線関係	
■ 月別指令別件数	6 9
■ 1 1 9回線受付状況	7 0
■ 1 1 9回線以外での救急入電状況	7 0
■ 月別気象状況	7 1
■ 気象注意報・警報・情報等状況	7 2

〈 消 防 団 等 資 料 〉

■ 消防団組織図	7 5
■ 消防団員及び報酬等の状況	7 6
■ 在職年数別消防団員数	7 6
■ 消防団現有消防車両等	7 7
■ 消防団出場状況	7 7



# 組織編



仲多度南部消防本部 庁舎



■ 構成町の町章等

構成町章	制 定 年 月 日	町の木	町の花
	町 章 の 由 来		
琴平町	昭和47年12月1日制定	オガタマノキ	サクラ 美女桜
	「コ」「ト」「ヒ」の三文字を合体させて近代的なデザインとし、全体として「ことひら」を表現している。太い字はたくましさや豊かさを、中央の円は融和と団結を象徴し、落ちつきと調和の中に限りなく雄飛する姿としたものである。 また、「ヒ」と「日」に共通点を求め、日本の歴史の中で繁栄した伝統と、全国津々浦々に知られた琴平町の未来を町章として表現するものである。		
まんのう町	平成18年3月20日制定	かりん	梅
	まんのう町の「マ」を図形化したものである。円形は柔らかいイメージを与え「円満」を表し、種から芽が伸びる様子も表現して新しいまちの始まりを表したものである。		

■ 執行機関及び議決機関

○ 執行機関

(令和2年4月1日現在)

管 理 者	琴 平 町 長	片 岡 英 樹
副 管 理 者	まんのう町長	栗 田 隆 義
会 計 管 理 者	琴平町会計管理者	馬 場 洋 子

○ 議 決 機 関

(令和2年6月25日現在)

議 長	まんのう町議会議長	大 西 樹
副 議 長	琴平町議会議長	安 川 稔
議 員	まんのう町議会議員	三 好 郁 雄
議 員	琴平町議会議員	森 藤 泰 生

○ 監 査 委 員

(令和2年6月25日現在)

識見を有する者	琴平町監査委員	河 野 玲 子
組合議員選出	まんのう町議会議員	三 好 郁 雄

## ■ 管内位置

仲多度南部消防組合は、四国香川県の西方南寄りに位置し、人口約2.8万人。管内面積202.92平方キロメートル。東西約12キロメートル、南北約23.5キロメートル。管内のほぼ中央を一級河川の土器川が瀬戸内海に注ぎ、南部山岳地帯は、杉、桧等の針葉樹林帯とクヌギ、ナラ等の広葉樹林帯が入り交じり、中央丘陵地帯は、お茶畑、水田、ゴルフ場等が広がり、北方平野部は米、麦、ニンニク等の農業が盛んである。また、全国的に有名な海の神様「こんぴらさま」や「国営讃岐まんのう公園」、「県立満濃池森林公園」、「大滝大川県立自然公園」等があり、観光地や自然環境の整った管内である。

本部

位 置	北 緯	34度 11分 10秒	東 経	133度 50分 02秒	面積	202.92km <sup>2</sup>
区 域	東 西	12.00km	南 北	23.50km		

## ■ 構成町勢 2町(琴平町・まんのう町)

(令和2年4月1日現在)

	面 積	人 口	世帯数
全 体	202.92 km <sup>2</sup>	27,383 人	11,807 世帯
琴 平 町	8.47 km <sup>2</sup>	8,982 人	4,287 世帯
まんのう町	194.45 km <sup>2</sup>	18,401 人	7,520 世帯

## ■ 消防庁舎概要

### ○ 建築概要

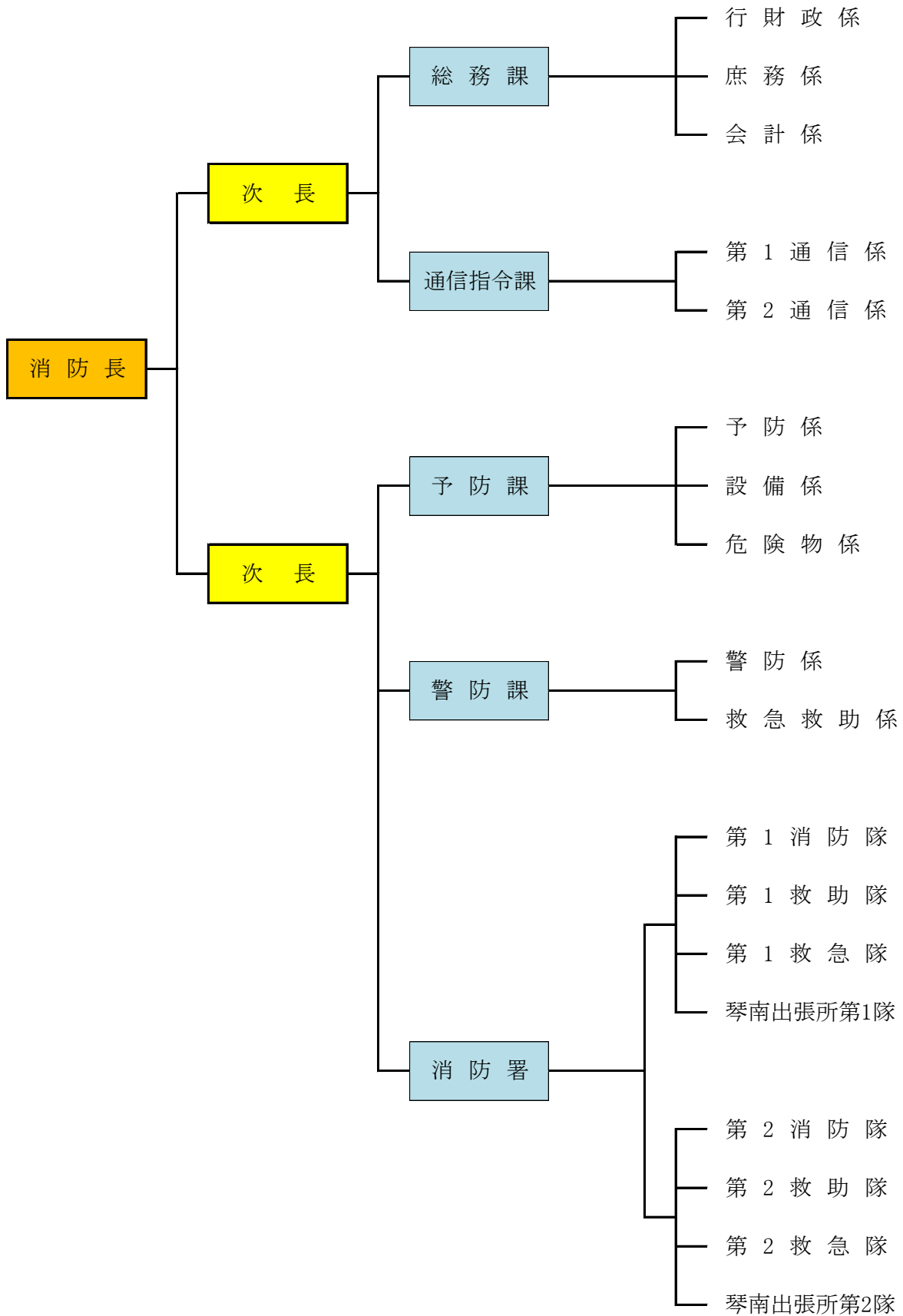
消 防 本 部 ・ 署				琴 南 出 張 所
所 在 地	香川県仲多度郡琴平町五条313番地			まんのう町造田3008番3
敷 地 面 積	3,307.39㎡			1,332.00㎡
棟 別	庁舎棟	訓練棟	倉庫棟	庁舎棟
構 造 ・ 階 層	鉄骨造3階建	鉄骨造5階建	鉄骨造2階建	鉄骨造2階建
建 築 面 積	820.25㎡		240.00㎡	234.85㎡
延 べ 面 積	2,445.36㎡		372.00㎡	395.70㎡
竣 工 年 月 日	平成11年3月20日	平成11年3月20日	平成元年12月10日	平成12年3月30日

### ○ 設備概要

自家発電設備	PG87MX 82 KVA	T-9-GP 12 KA
消 防 設 備 等	消火器 自動火災報知設備 誘導灯設備 防火戸自動閉鎖設備	消火器
空 調 設 備	パッケージエアコン (空冷ヒートポンプ式)	パッケージエアコン (空冷ヒートポンプ式)
換 気 設 備	全熱交換器換気扇	換気扇
給 水 設 備	上水・井水設備	上水・井水設備
通 信 設 備 等	無線塔 県防災行政無線 三頭トンネルモニター盤 気象観測装置 消防緊急通信指令システム	消防無線通信装置
そ の 他 設 備	高層建物消火救助訓練設備 ホース洗浄乾燥装置 放水訓練設備 (放水用水、地下貯水槽循環式) 放送設備	



■ 組織図 (令和2年4月1日現在)



## ■ 消防本部の事務分掌

総 務 課	行 財 政 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 組合事務局及び組合議会事務局に関すること</li> <li>(2) 組織、企画及び予算に関すること</li> <li>(3) 条例、規則、規程等の制定改廃に関すること</li> <li>(4) 職員の定数、配置及び人事に関すること</li> <li>(5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること</li> <li>(6) 職員の教養研修に関すること</li> <li>(7) 財産の取得及び処分の手続き並びに財産の管理に関すること</li> <li>(8) 物品の購入及び修繕に関すること</li> <li>(9) 関係諸機関との連絡調整に関すること</li> </ul>
	会 計 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 組合の出納事務に関すること</li> <li>(2) 職員の給与の支給に関すること</li> <li>(3) 職員の福利厚生及び公務災害に関すること</li> <li>(4) 監査に関すること</li> </ul>
	庶 務 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 公印の保管に関すること</li> <li>(2) 文書の收受及び発送に関すること</li> <li>(3) 儀式及び表彰に関すること</li> <li>(4) 消防年報に関すること</li> <li>(5) 職員の被服等貸与品の支給に関すること</li> <li>(6) 庁舎の環境衛生及び安全管理に関すること</li> <li>(7) 消防団に関すること</li> <li>(8) その他、他の課の主管に属しないこと</li> </ul>
予 防 課	予 防 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 火災予防の指導に関すること</li> <li>(2) 広報公聴に関すること</li> <li>(3) 自主防火組織の育成指導に関すること</li> <li>(4) 防火管理者の育成指導に関すること</li> <li>(5) 火災の原因及び損害の調査その他災害の調査に関すること</li> <li>(6) その他、課の他係の主管に属しないこと</li> </ul>
	危 険 物 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 危険物製造所等の許可及び完成検査に関すること</li> <li>(2) 危険物製造所等の指導取締に関すること</li> <li>(3) 液化石油ガスの指導取締に関すること</li> <li>(4) その他、危険物関係の指導に関すること</li> </ul>
	指 導 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建築確認許可等の同意事務に関すること</li> <li>(2) 消防用設備等の指導に関すること</li> <li>(3) 火気使用設備等の指導に関すること</li> <li>(4) 予防査察及び違反処理の指導に関すること</li> <li>(5) 防火対象物定期点検報告制度に基づく調査及び指導に関すること</li> </ul>

警 防 課	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 警防計画に関すること</li> <li>(2) 水火災、地震等の警戒防ぎょに関すること</li> <li>(3) 消防技術及び救助技術の研究及び指導に関すること</li> <li>(4) 消防地理水利に関すること</li> <li>(5) 消防訓練及び救助訓練に関すること</li> <li>(6) 消防機械器具の整備保全及び研究改善に関すること</li> <li>(7) その他、課の他係の主管に属しないこと</li> </ul>
	救急救助係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急救助計画の作成及び指導に関すること</li> <li>(2) 救急救助の統計及び情報に関すること</li> <li>(3) 救急救助技術の指導及び研究に関すること</li> <li>(4) 救急救助資器材の研究及び開発に関すること</li> <li>(5) 救急医療機関との連絡調整に関すること</li> <li>(6) その他、救急救助に関すること</li> </ul>
通 信 指 令 課		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 通信指令課の庶務に関すること</li> <li>(2) 緊急通報の受付及び出場指令業務に関すること</li> <li>(3) 災害情報の収集及び消防活動の情報支援業務に関すること</li> <li>(4) 通信施設の整備保全業務に関すること</li> <li>(5) その他、通信業務に関すること</li> </ul>
	有 線 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 緊急通報電話に関すること</li> <li>(2) 一般加入電話に関すること</li> <li>(3) 非常通報設備に関すること</li> <li>(4) その他、有線通信に関すること</li> </ul>
	無 線 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防無線に関すること</li> <li>(2) 防災行政無線に関すること</li> <li>(3) その他、無線通信に関すること</li> </ul>
	情 報 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急医療情報に関すること</li> <li>(2) 気象情報に関すること</li> <li>(3) 緊急情報システムの調査研究に関すること</li> <li>(4) その他、情報通信に関すること</li> </ul>

## ■ 消防署の事務分掌

消防隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 水火災、地震等の災害の防ぎよに関する事</li> <li>(2) 人命救助に関する事</li> <li>(3) 消防、救助訓練に関する事</li> <li>(4) 消防水利の保全及び点検に関する事（施設の設置、維持管理は除く）</li> <li>(5) 庶務、予防、警防及び機械の各係に関する事</li> <li>(6) 受付に関する事</li> <li>(7) その他、消防業務に関する事</li> </ul>
救急隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急業務に関する事</li> <li>(2) 救急機械器具並びに救急車両の保全及び点検整備に関する事</li> <li>(3) 受付に関する事</li> <li>(4) 隊内の庶務に関する事</li> <li>(5) その他、救急業務に関する事</li> </ul>
琴南出張所	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 水火災、地震等の災害の防ぎよに関する事</li> <li>(2) 人命救助に関する事</li> <li>(3) 救急業務に関する事</li> <li>(4) 救急機械器具並びに救急車両の保全及び点検整備に関する事</li> <li>(5) 消防、救助訓練に関する事</li> <li>(6) 消防水利の保全及び点検に関する事（施設の設置、維持管理は除く）</li> <li>(7) 庶務、予防、警防及び機械の各係に関する事</li> <li>(8) 受付に関する事</li> <li>(9) その他、管内の消防、救急業務に関する事</li> </ul>
庶務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 署の財務に関する事</li> <li>(2) 署員の服務及び教養研修に関する事</li> <li>(3) 署員の勤務の割振り及び勤務条件に関する事</li> <li>(4) 署員の諸手当に関する事</li> <li>(5) 署員の被服等貸与品の支給に関する事</li> <li>(6) 署員の福利厚生及び安全管理に関する事</li> <li>(7) その他、署の他係に属しない事</li> </ul>
予防係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 予防査察に関する事</li> <li>(2) 条例関係の予防事務（催物、少量危険物、指定可燃物等）に関する事</li> <li>(3) 火災の原因及び損害の調査に関する事</li> <li>(4) 防火指導及び相談に関する事</li> <li>(5) その他、火災予防事務に関する事</li> </ul>
警防係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防水利の記録整理に関する事</li> <li>(2) 消防訓練に関する事</li> <li>(3) 条例関係の警防事務（道路占有）に関する事</li> <li>(4) 防ぎよ計画に関する事</li> <li>(5) 警防調査に関する事</li> <li>(6) 消防活動記録に関する事</li> <li>(7) 消防団員等の訓練指導に関する事</li> <li>(8) 消防機械器具並びに消防車両の点検及び整備に関する事</li> <li>(9) 消防機械器具及び消防車両等消防装備の改善研究に関する事</li> <li>(10) 消防機械器具及び消防車両等の操作技術の研究指導に関する事</li> <li>(11) 消防車両の運転及び整備技術の指導に関する事</li> <li>(12) その他、警防事務に関する事</li> </ul>

## ■ 消防の沿革

昭和45年	3月 19日	一部事務組合設立の許可を知事より受ける。
	4月 1日	関係4町より職員を派遣し、旧琴平町消防本部において、仲多度南部消防組合として発足する。 初代消防長に小島久義が就任する。 派遣職員14名、新規採用21名と旧琴平町消防本部消防ポンプ自動車2台他、機材等借用し業務を開始する。
	4月 17日	政令指定を受ける。
	9月	新規職員、県消防学校初任科を卒業し消防隊、救急隊を編成する。
	10月	指令車（三菱）を購入し、消防本部に配置する。 救急車（トヨペットB型）を日本消防協会より寄贈され署に配置、救急業務を開始する。
昭和45年	12月	消防ポンプ自動車（A-2級 トヨタ）2台、小型動力ポンプ（B-3級ラビット）2台、各々購入し署に配置する。 無線機（基地局 1・移動局 5・移動局{携帯用} 5）を購入し、各車両に積載する。
昭和46年	3月	琴平町より消防ポンプ自動車（A-1級 トヨタ）を購入し、署に配置する。
	6月	救急業務の政令指定を受ける。
	8月	広報車（トヨペット）を香川県より購入し、消防本部に配置する。
	9月	運搬車（日産）を購入し、署に配置する。
	12月	消防本部庁舎が完成し、移転する。 消防訓練場が完成する。
昭和47年	1月	琴南分遣所が完成し、消防ポンプ自動車1台、小型ポンプ（B-3）1台を配置し、業務を開始する。
	4月	消防吏員5名、事務職員1名採用し41名となる。
昭和48年	3月	派遣職員期間満了し、2名元職に復帰、12名組合職員となる。
	4月	消防吏員8名、事務職員1名採用し48名となる。
	9月	水槽付消防ポンプ自動車（A-2級 いすゞ）を購入し、署に配置する。
	10月	救急車（2-B型日産）を購入し、署に配置する。なお、購入資金の一部は香川県農業共同組合共済連合会より寄付される。
	12月	職員3名退職し45名となる。
昭和49年	4月	消防吏員6名採用し51名となる。
	6月	中讃地区広域市町村圏内2市7町相互応援協定を締結する。
昭和50年	3月	職員1名退職し50名となる。
	4月	職員1名退職し49名となる。
	7月	職員1名退職し48名となる。
	10月	指令車（トヨタ）を購入し、消防本部に配置する。
昭和51年	4月	消防吏員3名採用し51名となる。
	7月	職員1名退職し50名となる。
昭和52年	4月	本部の総務、予防、警防各係を課に昇格する。
	9月	救急車（2-B型日産）を日本消防協会より寄贈され署に配置する。 職員1名退職し49名となる。
	10月	二代目消防長に消防次長柴坂満雄が就任する。

昭和53年	3月 11月	中讃広域圏内無線基地局及び移動局新設し、中讃広域圏内各消防署相互応援体制の強化を図る。 第4回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町旧金毘羅大芝居（重文）において実施する。
昭和54年	3月 10月	救助訓練塔（鉄パイプ製枠組立）を訓練場に建設する。 消防ポンプ自動車（CD-I型A-2級いすゞ）及び小型動力ポンプ（C-1級ラビット）、無線機（10W及び1Wゼネラル）を各々購入し、署に配置する。
昭和55年	2月 4月 8月 11月	職員1名退職し48名となる。 消防吏員2名採用し50名となる。 指令車（日産ブルーバード）を購入し、消防本部に配置する。 第21回全国消防長会警防委員会を仲多度南部消防組合が担当し、琴平町内において開催する。
昭和56年	4月 8月 9月 12月	消防吏員1名採用し51名となる。 職員1名退職し50名となる。 (財)日本消防協会より広報車（日産ブルーバード）が、寄贈され消防本部予防課に配置する。 救急指令装置C型（NECFD301）並びに構内電話交換設備取付工事完了、通信体制の強化を図る。
昭和57年	9月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、署に配置する。
昭和58年	3月 4月 5月 9月 11月	職員1名退職し49名となる。 職員1名退職し48名となる。 三代目消防長（消防長事務取扱）に当組合管理者枝園貞夫が就任する。 救急車（2-B型日産）を山之内製菓より寄贈され署に配置する。 消防ポンプ自動車（BD-I型A-1級 日産）を日本損害保険協会より寄贈され署に配置する。 第9回中讃広域圏内5消防本部合同演習を満濃町立南小学校において実施する。
昭和59年	9月 11月	琴南分遣所庁舎増築工事が竣工する。 救急車（1-B型 トヨタ）を香川県農業共済連合会より寄贈され署に配置する。
昭和60年	4月 12月	四代目消防長（消防長事務取扱）に当組合管理者田岡敏正が就任する。 四国瓦斯株式会社琴平支店丸亀営業所と、ガス漏れ及び爆発事故防止対策に関する協定を締結する。
昭和61年	1月 2月 4月 6月 12月	職員1名退職し47名となる。 水槽付消防ポンプ自動車（IA型 A-2級 日野）を購入し、署に配置する。 消防吏員2名採用し49名となる。 職員1名退職し48名となる。 香川県消防相互応援協定を県下全市町及び一部事務組合において締結する。

昭和62年	4月 6月 8月 9月 10月	五代目消防長（消防長事務取扱）に当組合管理者大森敏之が就任する。 日本消防協会より広報車「防火号」（日産キャラバン）を当婦人消防連合会に寄贈される。 職員1名退職し47名となる。 小型ポンプ積載車を日本消防協会より寄贈され署に配置する。 県境隣接消防広域相互応援協定を締結する。
昭和63年	1月 4月 5月 11月	職員1名退職し46名となる。 消防吏員5名採用し51名となる。 職員1名退職し50名となる。 第13回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町営東駐車場において実施する。（集団救急事故を想定した演習）
平成元年	3月 4月 12月	六代目消防長に消防次長五所尾義一が就任する。 消防吏員2名採用し52名となる。 庁舎西側倉庫が完成する。 梯子付消防自動車（30m級 日産UD）を購入し、署に配置する。
平成 2年	6月 8月	訓練場を建設省及び満濃町へ売却する。 仲南町で林野火災が発生し自衛隊に応援要請。16ヘクタールを焼失し3日後に鎮火する。
平成 3年	2月 8月	香川県農業共済連合会より救急車（2B型4WDハイエース）を寄贈され署に配置する。 日本消防協会より指令広報車（三菱ランサー）を寄贈され消防本部に配置する。
平成 4年	3月 8月	職員1名退職し51名となる。 琴南分遣所庁舎改修工事が竣工する。 職員1名退職し50名となる。
平成 5年	4月 11月 12月	消防吏員2名採用し52名となる。 消防ポンプ自動車（CD-I型A-2 三菱）を購入し、署に配置する。 第18回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町において実施する。
平成 6年	2月 3月 4月 5月 9月	香川県防災行政無線に関する協定を締結する。 香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定を締結する。 香川県防災航空隊が発足し、香川県防災ヘリコプター応援協定を締結する。 救急救命士試験に合格し救急救命士運用開始。 指令車（日産セドリック）を購入し、消防本部に配置する。
平成 7年	1月 2月 3月 4月 5月 8月	阪神大震災の発生により神戸市へ応援出動する。 通信室を2階へ移転し、通信体制を強化する。 高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、署に配置する。 消防吏員1名退職し51名となる。 七代目消防長に琴平町役場から宮武昭一が就任し、52名となる。 消防吏員1名採用し53名となる。 救急救命士試験に合格し2名体制となる。 消防ポンプ自動車（CD-I型 A-1 いすゞ）を日本損害保険協会より寄贈され、署に配置する。

平成 8年	3月	救助工作車Ⅲ型及び高度救助資機材を購入し、署に配置する。 (画像探索機Ⅰ型、Ⅲ型・地中音響探知機・熱画像直視装置・夜間用暗視装置・潜水用具5基等)
	4月	消防吏員2名採用し55名となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名を派遣する。(2年間)
	5月	救急救命士試験に合格し3名体制となる。 第53回全国消防長会警防委員会を仲多度南部消防組合が担当し、琴平町内において開催する。
平成 9年	1月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に指揮隊員が参加する。 (岡山県岡山市)
	3月	現場指揮車(三菱パジェロ)を購入し、消防本部に配置する。 三頭トンネル開通に伴い、一般国道438号三頭トンネル消防用無線通信設備管理協定を締結する。 三頭トンネル防災訓練を実施する。
	4月	消防吏員1名採用し56名となる。
	11月	救急救命士試験に合格し4名体制となる。
平成10年	4月	消防吏員2名採用し58名となる。 三頭トンネル防災訓練を実施する。 職員1名退職し57名となる。
	5月	救急救命士試験に合格し5名体制となる。
	8月	軽可搬式消防ポンプ(C-1級)付軽積載車を日本消防協会より寄贈され本部に配置する。
	10月	携帯電話等の119番通報受信システムの運用を開始する。 第23回中讃広域圏内5消防本部合同演習を琴平町内において実施する。 (高層建築物ホテル火災を想定)
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消火隊が参加する。 (香川県高松市)
平成11年	3月	消防本部庁舎が完成し移転する。 消防緊急通信指令施設Ⅰ型を導入し、通信指令業務の強化を図る。
	4月	消防吏員2名採用し59名となる。
	5月	救急救命士試験に合格し6名体制となる。
	7月	三頭トンネル防災訓練を実施する。
	10月	仲多度南部地区仲南町婦人消防隊が、第14回全国婦人消防ポンプ操法大会に出場し準優勝する。
	11月	第60回全国消防長会警防委員会を仲多度南部消防組合が担当し、琴平町内において開催する。 救急救命士試験に合格し8名体制となる。
	平成12年	3月
4月		琴南町勝浦吹佐古に無線前進基地局を開設する。 八代目消防長に消防次長片山隆二が就任する。 消防吏員2名採用し60名となる。 琴南分遣所を琴南町造田へ移転新築し、琴南出張所を開設する。吏員9名を配置、ポンプ車1台、高規格救急車1台を配置する。 救急救命士試験に合格し9名体制となる。
8月		三頭トンネル防災訓練を実施する。
11月		ホース積載車(三菱ミニキャブ)を購入し、琴南出張所に配置する。 救急救命士試験に合格し10名体制となる。



平成13年	3月	潜水用具（6基）を購入し、署に配置する。
	4月	香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。（3年間）
	5月	インパルス消火システム（1基）を購入し、署に配置する。
	8月	三頭トンネル防災訓練を実施する。
	9月	当組合ホームページ開設（ <a href="http://www.nakatado-fd.jp/">http://www.nakatado-fd.jp/</a> ）
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （高知県南国市）
	12月	職員1名退職し59名となる。
平成14年	3月	組合設立30周年記念式典を開催する。 消防緊急通信指令施設（I型）発信地表示システムを整備し、通信指令業務の強化を図る。
	4月	仲南町立仲南西小学校に無線前進基地局を開設する。
	5月	救急救命士試験に合格し11名体制となる。
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （山口県阿知須）
	11月	救急救命士試験に合格し12名体制となる。 あんしん登録制度を発足する。 三頭トンネル防災訓練を実施する。
平成15年	1月	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型 A-2級 日野レンジャー）を更新し、署に配置する。
	3月	人員搬送車（日産シビリアン）を購入し、消防本部に配置する。
	4月	消防吏員3名採用し62名となる。
	6月	高圧送水ポンプWick-250を購入し、署に配置する。
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救急隊員が参加する。 （広島県呉市）
	11月	救急救命士試験に合格し13名体制となる。 三頭トンネル防災訓練を実施する。
平成16年	3月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、署に配置する。
	7月	職員1名退職し61名となる。 救急救命士退職し12名体制となる。
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消火隊員が参加する。 （徳島県板野郡）
	11月	広報車（日産ウイングロード）を購入し、消防本部に配置する。
	12月	IP電話による119番受付運用を開始する。
平成17年	3月	林野火災工作車（日野デュトロ）を購入し、署に配置する。
	4月	消防吏員1名採用し62名となる。 救急救命士試験に合格し13名体制となる。
	5月	職員1名退職し61名となる。
	6月	緊急消防援助隊全国合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （静岡県静岡市）
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に消防隊が参加する。 （香川県高松市）
	12月	携帯電話119番直接受付を運用開始する。
平成18年	3月	職員1名退職し60名となる。 管内4町の内、満濃町、仲南町、及び琴南町が合併し、「まんのう町」となり、 琴平町、まんのう町の2町構成となる。
	4月	消防吏員3名採用し63名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名を派遣する。（3年間）

平成19年	3月 4月 11月	職員3名退職し60名となる。 救命士試験に合格し15名体制となる。 消防吏員4名採用し64名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 (鳥取県米子市)
平成20年	3月 4月 10月 12月	職員1名退職し63名となる。 自治体消防制度60周年記念式典 (日本武道館) 救急救命士試験に合格し16名体制となる。 消防吏員4名採用し67名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。 (愛媛県松山市) 救急振興財団より、救急普及啓発広報車が寄贈される。
平成21年	1月 3月 4月 10月 11月	職員1名退職し66名となる。 職員11名退職 (うち救急救命士2名) し55名となる。 消防吏員4名、再任用職員2名採用し61名となる。 救急救命士試験に合格し15名体制となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 (島根県出雲市) 高規格救急車 (トヨタハイメディック) を購入し、署に配置する。
平成22年	3月 4月 6月 10月	職員7名 (うち救急救命士1名、再任用職員2名) が退職し54名となる。 九代目消防長に消防次長佐野英信が就任する。 消防吏員4名、再任用職員1名採用し59名となる。 救急救命士試験に合格し15名体制となる。 第4回緊急援助隊全国合同訓練に後方支援部隊員が参加する。 (愛知県知多市) 職員1名退職し (救急救命士1名) 、58名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 (高知県高知市)
平成23年	3月 4月 10月 12月	東日本大震災が発生し、香川県緊急消防援助隊後方支援隊員として隊員2名を宮城県気仙沼市へ派遣する。 職員3名退職 (うち救急救命士1名、再任用職員1名) し、55名となる。 消防吏員3名採用し58名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 指令システム[情報系]設備の更新をする。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。 (広島県福山市) 水槽付きポンプ車 (CD1 A-2級 日野デュトロ) を購入し、署に配置する。
平成24年	3月 4月 11月 12月	職員5名退職 (うち救急救命士1名) し、53名となる。 十代目消防長に消防署長森本守が就任する。 消防吏員2名、再任用職員2名採用し57名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 IP・携帯電話統合型位置情報システムを整備し、通信指令業務の強化を図る。 香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。(3年間) 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 (山口県山口市) 職員2名退職 (うち再任用職員1名) し、55名となる。
平成25年	3月 4月 11月	職員3名退職 (うち再任用職員1名) し、52名となる。 消防吏員5名採用し57名となる。 中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊員が参加する。 (徳島県阿南市)

平成26年	3月	職員3名退職（うち救急救命士1名）し54名となる。 救急救命士試験に合格し14名体制となる。 消防救急デジタル無線（共通波）運用を開始する。
	4月	十一代目消防長に総務課長片山保が就任する。 消防吏員1名、再任用職員1名採用し56名となる。
	10月	ホース積載車（日産クリッパー）を購入し、署に配置する。
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に後方支援隊が参加する。 （岡山県岡山市）
平成27年	2月	火災原因調査車（トヨタハイエース）を購入し、消防本部に配置する。
	3月	再任用職員1名退職し55名となる。 救急救命士試験に合格し15名体制となる。
	4月	消防吏員1名採用し56名となる。
	11月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。 （香川県高松市） 緊急消防援助隊全国合同訓練に後方支援隊員が参加する。 （千葉県市原市）
	12月	高規格救急車（日産パラメディック）を購入し、琴南出張所に配置する。
平成28年	3月	職員1名退職し55名となる。 救急救命士試験に合格し16名体制となる。
	4月	消防吏員4名採用し59名となる。 熊本地震が発生し、香川県緊急消防援助隊として隊員8名を熊本県上益城郡益城町へ派遣する。
	6月	アナログ無線運用を終了し、設備を撤去する。
	10月	梯子付消防自動車（30m級 日野）を購入し、署に配置する。
	12月	防災活動車（日産クリッパー）を日本消防協会より寄贈され消防本部に配置する。
平成29年	3月	救急救命士試験に合格し17名体制となる。
	4月	消防吏員1名採用し60名となる。
	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救急隊が参加する。 （島根県安来市）
平成30年	3月	消防緊急通信指令施設（通信指令系）を更新する。 職員2名退職し58名となる。 救急救命士試験に合格し18名体制となる。
	4月	十二代目消防長に消防次長宮下春夫が就任する。 消防吏員4名、再任用職員1名採用し63名となる。 香川県消防防災航空隊へ職員1名派遣する。（3年間） 職員1名退職し62名となる。
	7月	平成30年7月豪雨が発生し、香川県緊急消防援助隊として隊員16名を広島県安芸郡坂町小屋浦へ派遣する。 職員1名退職し61名となる。
平成31年	1月	高規格救急車（日産キャラバン）を日本損害保険協会より寄贈され署に配置する。
	2月	救助工作車Ⅱ型（日野）を購入し、署に配置する。
	3月	救急救命士試験に合格し19名体制となる。 再任用職員1名退職し60名となる。
	4月	消防吏員3名採用し63名となる。
令和元年	10月	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に救助隊が参加する。 （高知県）
令和2年	3月	救急救命士試験に合格し20名体制となる。
	4月	消防吏員2名採用し65名となる。



# 総務編



小学生庁舎内見学



■ 消防組合令和元年度決算状況

(単位:千円)

科 目		令 和 元 年 度		平 成 3 0 年 度		比 較 増 減
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	対 前 年 比
歳 入	1. 分担金及び負担金	620,827	99.40%	699,391	95.94%	△ 78,564
	2. 使用料及び手数料	251	0.04%	235	0.03%	16
	3. 国庫支出金	0	0.00%	26,232	3.60%	△ 26,232
	4. 財産収入	58	0.01%	54	0.01%	4
	6. 繰越金	3,069	0.49%	2,910	0.40%	159
	7. 諸収入	352	0.06%	129	0.02%	223
	計	624,557	100.00%	728,951	100.00%	△ 104,394
歳 出	1. 議会費	264	0.04%	284	0.04%	△ 20
	2. 総務費	504,499	81.16%	487,567	67.17%	16,932
	3. 消防費	90,351	14.53%	210,718	29.03%	△ 120,367
	4. 公債費	23,481	3.78%	23,501	3.24%	△ 20
	5. 諸支出金	3,028	0.49%	3,812	0.53%	△ 784
	6. 予備費	0	0.00%	0	0.00%	0
	計	621,623	100.00%	725,882	100.00%	△ 104,259
	実 質 収 支	2,934		3,069		△ 135

■ 職員配置状況

(令和2年4月1日現在)

区 分		実 員	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	再 任 用
実 員		65							
本 部	消 防 長	1 (0)	1						
	次 長	2 (0)		2					
	総 務 課	3 (8)		2	(3)	(3)	1	(2)	
	総 務 課 ( 付 )	2 (0)						2	
	予 防 課	3 (12)		1	1 (2)	1 (7)	(1)	(2)	
	警 防 課	4 (16)		2	1 (6)	(1)	1 (1)	(8)	
	通 信 指 令 課	7 (4)		1	2	3 (2)	1 (2)		
	県 防 災 航 空 隊	1 (0)				1			
	小 計	23 (40)	1 (0)	8 (0)	4 (11)	5 (13)	3 (4)	2 (12)	0 (0)
署 ・ 所	署 長	0 (1)		(1)					
	副 署 長	0 (1)		(1)					
	第 1 消 防 隊	13 (0)			3	4		6	
	第 2 消 防 隊	13 (0)			3	4		6	
	第 1 救 急 隊	4 (0)			1	1	2		
	第 2 救 急 隊	4 (0)			2	2			
	琴 南 出 張 所 第 1 隊	4 (0)			1	2	1		
	琴 南 出 張 所 第 2 隊	4 (0)			1	2	1		
	小 計	42 (2)	0 (0)	0 (2)	11 (0)	15 (0)	4 (0)	12 (0)	0 (0)
合 計	65 (42)	1 (0)	8 (2)	15 (11)	20 (13)	7 (4)	14 (12)	0 (0)	

( ) 兼務

■ 職員の勤続年数

(令和2年4月1日現在)

階級等 区 分	計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	再 任 用
5 年 未 満	14						14	
5 ～ 10年未満	10				3	7		
10 ～ 15年未満	17				17			
15 ～ 20年未満	4			4				
20 ～ 25年未満	8			8				
25 ～ 30年未満	3			3				
30 年 以 上	9	1	8					
再 任 用 職 員	0							
合 計	65	1	8	15	20	7	14	0



■ 職員教育課程修了状況

(令和2年4月1日現在)

階級別 / 階級別		元年度	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
消防大学校	本科		0						
	幹部科		2		2				
	上級幹部科		1	1					
	警防科	1	4		2	1	1		
	予防科		3		1	2			
	救急科		0						
	救助科		3	1	2				
香川県消防学校	初任科	3	63	1	8	15	20	7	12
	幹部科		0						
	上級幹部科	1	3	1	2				
	中級幹部科		6		3	3			
	初級幹部科		8		2	5	1		
	警防科		13		4	4	5		
	予防科		3	1	2				
	予防査察科	2	12		4	3	5		
	危険物科	2	10		3	2	5		
	火災原因調査科		12	1	3	2	6		
	救急標準科	3	57		3	15	20	7	12
	救急Ⅰ課程		7	1	6				
	救急Ⅱ課程		6	1	5				
	無線科		1	1					
	救助科	2	31	1	5	9	13	3	
特殊災害科	2	20		4	9	7			

■ 各種資格・免許等取得状況

(令和2年4月1日現在)

区分 / 階級別		元年度	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
自動車	大型特殊		0						
	大型1種	2	48	1	8	13	18	6	2
	準中型1種	1	3						3
	普通1種	1	62	1	8	15	20	7	11
救急・救助関連	救急救命士	1	20		4	9	6	1	
	ガス溶接講習者		17	1	8	7			1
	第2種酸素欠乏危険作業主任者	2	32	1	6	9	13	3	
	潜水士	2	29		6	9	10	4	
	小型移動式クレーン	2	36	1	8	15	11	1	
	玉掛技能習得者	3	37	1	8	15	11	1	1
	巻上げ機	2	14			3	10	1	
無線・電気	特殊無線技士乙		1	1					
	陸上特殊第2級	3	22	1	7	8	5	1	
	陸上特殊第3級		1		1				
	航空特殊無線技師		4		1	1	2		
	アマチュア無線4級		2		2				
	第1種電気工事士		1		1				
第2種電気工事士		3		2		1			
予防関連・その他	小型船舶2級	3	7		1	2	2		2
	乙種3類危険物		2			1			1
	乙種4類危険物		28			7	14	4	3
	消防設備士乙種6類		2				1		1
	予防技術検定 防火査察	2	10		1	3	5		1



# 予防編



予防査察



## ■ 防火対象物

### ○ 項別（用途区分別）とは

火災予防の対象となる建物、工作物、車両、船舶などを防火対象物といい、用途（火災に対する類似の危険性を有するグループ）によって、消防法施行令別表第1で次のように区分されている。この用途区分により、防火管理や消防用設備等の設置に関する基準が定められている。

### ○ 特定用途防火対象物とは

百貨店、旅館、ホテルなど、不特定多数の人が出入りする建物や、病院、老人福祉施設、幼稚園など災害弱者を収容する建物で、火災が発生した場合、人命危険が高い用途の対象物を特定用途防火対象物という。（下記の色網掛けしたものが該当する。）

防火対象物の現況（延べ面積150㎡以上のもの）

用途区分	主 な 用 途	件 数
(1)項	イ 劇場、映画館、演芸場、又は観覧場	0
	ロ 公会堂、又は集会場	33
(2)項	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	0
	ロ 遊技場、又はダンスホール	3
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	0
	ニ カラオケボックス、その他の個室型店舗等	0
(3)項	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	0
	ロ 飲食店	19
(4)項	百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗、又は展示場	37
(5)項	イ 旅館、ホテル、宿泊所、その他これらに類する施設	30
	ロ 寄宿舎、下宿、又は共同住宅	92
(6)項	イ 病院、診療所、又は助産所	22
	ロ 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	13
	ハ 老人デイサービスセンター、又は老人福祉センター、保育所等	20
	ニ 幼稚園、特別支援学校	4
(7)項	小、中、高等学校、高等専門学校、大学校、各種学校、その他これに類するもの	34
(8)項	図書館、博物館、美術館などその他これらに類するもの	7
(9)項	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場などその他これらに類するもの	2
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3
(10)項	車両の停車場、又は船舶、若しくは航空機の発着場	2
(11)項	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	27
(12)項	イ 工場、又は作業場	105
	ロ 映画スタジオ、又はテレビスタジオ	1
(13)項	イ 自動車車庫、又は駐車場	12
	ロ 航空機、又は回転翼航空機の格納庫	0
(14)項	倉庫	89
(15)項	前各項に該当しない事業場	120
(16)項	イ 特定用途部分を含む複合用途防火対象物	60
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	18
(16の2)項	地下街	0
(16の3)項	準地下街	0
(17)項	重要文化財等	3
(18)項	延長50m以上のアーケード	0
(19)項	市町村長の指定する山林	0
(20)項	総務省令で定める舟車	0
合 計		756

## ■ 予防査察

査察は、人命の安全と財産の保護を最大の目的として実施している。消防法令に基づき、消防職員が防火対象物や危険物施設など関係のある場所に立入り、建物の位置、構造、設備及び管理の状況について、火災予防上の必要な検査や防火指導を行っている。

消防法令違反や火災予防上危険と認められる不備を発見したときは、当該関係者に対し是正するよう指導している。また、重大な法令違反や著しい火災発生危険、及び人命危険等が認められる時は、警告や命令を行い違反是正の促進を図っている。

### 査察の執行状況

区 分	一般防火対象物	危険物施設	合 計
予防査察回数	76	111	187

## ■ 防火対象物定期点検報告制度

防火対象物定期点検報告制度は、旅館、ホテル、百貨店、集会場など不特定多数の人を収容する建物のうち、収容人員30人以上300人未満で特定用途部分が3階以上の階、又は地階に存するもののうち階段が1つのもの（屋外階段であれば免除）あるいは、収容人員300人以上の防火対象物が該当する。

自動火災報知設備や屋内消火栓設備などの消防用設備等が適法に設置され、機能が適正に維持されているか、あるいは、火災発生時に建物の関係者がすばやく消火活動を行ったり、利用者を安全な場所に避難させることができるかなど、ハード、ソフト両面から審査している。

その結果、一定の防火基準に適合した建物の関係者に対し、防火基準点検済証を交付している。点検済証をホテルのフロント、百貨店の入り口など見やすい位置に掲示することで、利用者に建物が防火上安全であることの情報を提供するとともに、建物の関係者に対し防火意識の高揚を図っている。

なお、防火対象物の全ての部分が3年間継続して消防法令を遵守している場合は、防火優良認定証を掲出することができる。



防火基準点検済証



防火優良認定証

### ◆ 防火基準点検済証の交付状況

建物の用途等	交付件数
集会場等	1
百貨店、マーケット、物品販売店舗等	2
旅館、ホテル等	3

### ◆ 防火優良認定証の交付状況

建物の用途等	交付件数
集会場等	0
百貨店、マーケット、物品販売店舗等	0
旅館、ホテル等	2

## ■ 防火対象物適合表示制度

防火対象物適合表示制度は、収容人員が30人以上で、地階を除く階数が3以上の宿泊施設を対象としている。消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた場合に表示マークが交付される。

### ◆ 表示マークの交付状況

交付件数	4
------	---



表示マーク

## ■ 防火管理

防火管理とは、火災の発生を未然に防ぎ、かつ、万一火災が発生したときには、その被害を最小限に止めるために、必要かつ万全な対策を立て、それを実行することをいう。

すべての建物では、自主防火管理の原則に基づき、火災発生の排除と万一の火災発生に対する体制の確立を図ることが重要である。しかし、自主的な防火管理を期待するだけでは、その建物の安全が十分に確保されない場合があるため、特に多数の人を収容する建物については、消防法で一定の方法による防火管理を行うことを義務付け防火管理の徹底を図っている。

多数の人を収容する建物では、いったん火災が発生すると人的、物的ともに大きな被害が出るおそれがあるため、建物の管理権原者に対し、防火管理者の選任や防火責任者の選任、消防計画書の作成など、火災等の被害を最小限にとどめるための災害活動管理体制を確保するよう指導している。

### ○ 防火管理の状況

対 象 種 別		琴 平 町	まんのう町	計
防火管理者を選任しなければならない防火対象物数	甲 種	93	99	192
	乙 種	18	12	30
防火管理者を選任している防火対象物数	甲 種	83	88	171
	乙 種	13	5	18
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	甲 種	76	86	162
	乙 種	9	5	14

### ○ 特定用途防火対象物の訓練状況

対 象 種 別		琴 平 町	まんのう町	計
消 火 訓 練	1回	10	16	26
	2回以上	21	20	41
避 難 訓 練	1回	8	12	20
	2回以上	23	25	48

## ■ 消防同意

消防同意は、消防が防火の専門家という立場から建物の火災予防について、設計の段階から関与し、建物の安全性を高めることを目的として設けられている制度です。防火上の安全性や消防活動上の観点から審査指導を行っています。また、用途や規模によっては工事中や完成時に検査を行い建物の安全化に努めている。

### ○ 建築確認申請指導状況

申請要旨	指導なし	指導あり	不同意	計
新築	14	1		15
増築	6			6
その他				0
計	20	1	0	21



## ■ 消防用設備等の設置

火災の発生をいち早く知り、迅速な初期消火を行い、安全な避難誘導が行えるよう消防法では防火対象物の関係者に対して、防火対象物の用途、規模、構造及び収容人員に応じて、一定の基準に従って消防用設備等の設置を義務付けている。これらに基づいて防火対象物の計画、設計段階で消防用設備等の設置指導を行ない、完成時に完成検査を実施している。さらに、完成後の査察や消防設備点検結果報告により、その適正な維持管理の指導に努めている。

### ○ 主な消防用設備等の設置状況

種 類		設 置 数
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	112
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	27
	水 噴 霧 他、その他の消火設備等	19
	屋 外 消 火 栓 設 備	15
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	457
	火 災 通 報 装 置	61
	非 常 警 報 設 備 等	150
	ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	6
避 難 設 備	避 難 器 具	83
	誘 導 灯	342
消火活動上必要な施設	排 煙 設 備	1
	連 結 送 水 管	12
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	2
非 常 電 源	専 用 受 電 設 備	41
	蓄 電 池 設 備	0
	自 家 発 電 設 備	50

## ■ 消防用設備等の点検制度

消防用設備等は、いついかなる場合に火災が発生しても、確実にその機能が有効に働かなければならない。

そのため、消防法では、消防用設備等の点検報告や整備を含めた適正な維持管理を行うことを防火対象物の関係者に義務付けている。

消防用設備等の点検は、関係者等が行うこととされているが、一定の規模以上の防火対象物になると、点検や整備は専門知識や技術を必要とされることから、消防設備士が点検と整備を、消防設備点検資格者が点検をそれぞれ実施することとされており、適正な点検整備が行われるよう指導を行っている。

### ○ 点検報告済防火対象物件数

	面積	琴 平 町	まんのう町	計
点検報告済防火対象物	1,000㎡未満	60	91	151
	1,000㎡以上	35	44	79

## ■ 危険物の規制

危険物は、消防法別表において、化学的物理的性質により第1類から第6類までに分類され、それぞれ類ごとに共通する性質を有している。

危険物は、地域住民の生活に密着している反面、ひとたび災害が発生したならば住民の生活を破壊したり、尊い生命までも奪ってしまう可能性がある。この危険物を安全に管理するため、危険物施設の設置許可申請に際し、消防法令に規定する技術基準の適合性を審査し、完成検査を行い安全な施設の設置指導を行っている。また、これらの危険物施設に対し、定期的な立入検査及び自主点検制度等を通じて適正に維持管理が行われ、かつ、危険物取扱者等に対して適正な貯蔵取扱が行われるよう指導をしている。

### ○ 貯蔵取扱・類別件数

製造所等の別／類別		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	計
製 造 所								0
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所				18			18
	屋外タンク貯蔵所				6			6
	屋内タンク貯蔵所				5			5
	地下タンク貯蔵所				33			33
	簡易タンク貯蔵所							0
	移動タンク貯蔵所				8			8
	屋 外 貯 蔵 所				3			3
	小 計	0	0	0	73	0	0	73
取 扱 所	給油取扱所				24			24
	販売取扱所							0
	移送取扱所							0
	一般取扱所				16			16
	小 計	0	0	0	40	0	0	40
合 計		0	0	0	113	0	0	113

### ○ 倍数別件数

製造所等の別／類別		5倍以下	5倍 を超え 10倍 以下	10倍 を超え 50倍 以下	50倍 を超え 100倍 以下	100倍 を超え 150倍 以下	150倍 を超え 200倍 以下	200倍を 超える	小計
製 造 所									0
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3	4	7	4				18
	屋外タンク貯蔵所	2	4						6
	屋内タンク貯蔵所	3	2						5
	地下タンク貯蔵所	15	3	6	8	1			33
	簡易タンク貯蔵所								0
	移動タンク貯蔵所	4	2	2					8
	屋 外 貯 蔵 所		1	1	1				3
	小 計	27	16	16	13	1	0	0	73
取 扱 所	給油取扱所	3	3	7	5	1	4	1	24
	販売取扱所								0
	移送取扱所								0
	一般取扱所	7	6	3					16
	小 計	10	9	10	5	1	4	1	40
合 計		37	25	26	18	2	4	1	113

## ■ 届出等に基づく審査・検査等事務

消防法令の規定により届出等をされた事項や内容の審査・検査を通じて、建物や危険物施設等の実態、火災の予防上必要な事項、地理、水利、道路等の状況など災害の予防に係る指導を行っている。

### ○ 届出等の受理状況

届出等に基づく種別	件数
防火（防災）管理者選任・解任届出書	45
消防計画作成（変更）届出書	32
防火対象物点検報告特例認定申請書	0
管理権原者変更届出書	0
防火対象物点検結果報告書	23
工事整備対象設備等着工届出書	28
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書	77
防火対象物使用開始届出書	19
消防用設備等点検結果報告書	221
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書	8
喫煙・裸火使用・危険物品持込み承認申請書	5
炉・厨房設備・温風設備・乾燥設備・ボイラー等設置届出書	15
サウナ設備届出書	3
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	0
火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書	0
燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届出書	11
ネオン管灯設備設置届出書	0
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届出書・廃止届出書	5
水素ガスを充てんする気球の設置届	0
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出書	260
煙火打上げ・仕掛け届出書	18
催物開催届出書	2
露店等の開設届出書	36
道路工事届出書	205
水道断減水届出書	0



# 警防編



潜水訓練



■ 消防車両の現況

(令和2年4月1日現在)

所属	種別	類別	メーカー	機装	級別	初年度登録	経過年数	備考	登録番号
消防本部	指令車	普通貨物	日産	日産		H16/11	15	H27/2 広報車を切替え使用	香川800 さ4688
	指揮車	ジープ	三菱	JA香川		H9/2	23		香川88 す511
	火災原因調査車	ワンボックス	トヨタ	オートワークス京都		H27/2	5		香川800 す165
	連絡車	軽四輪貨物	日産	クラタ		H28/12	3	寄贈車両	香川880 あ1237
	人員搬送車	マイクロバス	日産	日産		H15/1	17		香川200 さ230
	業務連絡車	原付2輪車	ホンダ			H11/4	21		琴平町 公366
消防署	水槽付きポンプ車	C D - 1	日野	長野	A - 2	H23/12	8	自動泡混合システム搭載	香川800 さ8738
	水槽付きポンプ車	水 II - A	日野	長野	A - 2	H15/1	17	高圧泡混合搭載	香川800 は228
	ポンプ車	C D - 1	いすゞ	吉谷	A - 1	H7/8	24	寄贈車両	香川88 さ9279
	ホース積載車	軽四輪トラック	日産	JA香川		H26/10	5		香川880 あ1006
	はしご車	30メートル級	日野	森田		H28/10	3		香川800 は903
	救助工作車	救助工作車II型	日野	テイセン		H31/2	1		香川800 は1038
	林野火災工作車	コンテナ/積載車	日野	長野		H17/2	15	アームロール型	香川830 ぬ119
	電源照明車	自走式照明車	いすゞ			H9/8	22	県所有を管理	香川88 す1043
	高規格救急車	高規格	トヨタ	トヨタ		H21/11	10		香川830 む119
	高規格救急車	高規格	日産	オートワークス京都		H31/1	1	寄贈車両	香川800 す2052
	高規格救急車	高規格	トヨタ	トヨタ		H16/2	16		香川800 さ4184
	救急普及啓発広報車	マイクロバス	日産	オートワークス京都		H20/11	11	寄贈車両	香川800 さ7282
琴南出張所	ポンプ車	C D - 1	日野	長野	A - 2	R2/2	0		香川800 す2494
	高規格救急車	高規格	日産	日産		H27/11	4		香川800 す525
	ホース積載車	軽四輪トラック	三菱	JA香川		H12/11	19		香川80 あ1046

■ 消防装備一覧（抜粋）

種別	装備名	台数	元年度購入	種別	装備名	台数	元年度購入	
消防用資機材（抜粋）				救助用資機材（抜粋）				
消 火 用 資 機 材 等	小型動力ポンプ B-2級	1	0	特 殊 災 害 資 機 材	可燃性ガス測定器	3	0	
	小型動力ポンプ C-1級	6	1		複合型ガス測定器	5	0	
	ジェットシューター	58	0		ポケット型線量計	13	0	
	ホース(65mm×20m)	129	0		空間線量計	3	0	
	ホース(50mm×20m)	71	0		放射能表面汚染検査計	2	0	
	ホース(40mm×30m)	44	0		陽圧式化学防護服	2	0	
	ホース(40mm×20m)	53	10		化学防護服(マイクロケム5000)	6	0	
	高压送水ポンプ Wick250	2	0		有毒ガス検知器	1	0	
	ウォータージャケット	30	0		耐熱防護服	0	0	
	リレーコントロールバルブ	8	2		放射線防護服	2	0	
	かぎ付梯子	7	1		除染テント	1	0	
	2連アルミ合金製梯子	3	0		水 難 用 器 具	ウェットスーツ・ドライスーツ	26	3
	2連チタン製梯子	1	0			救命ボート(ゴム製)	2	0
3連チタン製梯子	4	1	救命ボート(アルミ製)	1		0		
救急用資機材（抜粋）				船外機		2	0	
高 度 救 命 用 資 機 材 等	気道確保用資機材一式	4	0	水中投光器		15	0	
	自動体外式除細動器	6	0	潜水器具		11	0	
	AEDトレーナー	5	0	水中無線船上		2	0	
	自動式心肺蘇生装置	4	0	水中無線送受信機		8	0	
	輸液用資機材一式	4	0	水中スクーター		2	0	
	バックボード一式	11	0	潜水用ポンベ		13	0	
	心電図電送装置	1	0	切 断 ・ 破 壊 用 器 具		油圧スプレッダー・カッター	2	0
	患者監視装置	4	0			コンビツール	1	1
その他の資機材（抜粋）						エアソー	1	0
そ の 他 器 具	高压ガス製造設備	1	0		エンジンカッター	5	0	
	オイルフェンス	5	0		チェーンソー	10	0	
	衛星電話(車載1・携帯1)	2	0		コンクリートカッター	1	0	
	カーナビゲーションシステム	10	1		削岩機	2	0	
	GoPro	3	1		ハンマードリル	3	0	
	オゾンガス発生装置	4	1		鉄筋カッター	4	0	
救助用資機材（抜粋）					ガス溶断機	1	0	
救 助 資 機 材	マット式空気ジャッキ	2	0		携帯用コンクリート破砕機	1	0	
	救命索発射銃(空気圧式)	2	0		隊 員 保 護 用 器 具	防毒マスク	5	0
	画像探索器 I 型	1	0			空気呼吸器	27	0
	地中音響探知機	1	0	酸素呼吸器		5	0	
	夜間用暗視装置	1	0	29.4Mpa用ポンベ		33	2	
	地震警報器	1	0	耐電衣		6	0	



■ 過去10年間事故別件数・出場延べ人員

種別／区分	22年		23年		24年		25年		26年		27年	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
合計	2,074	7,306	2,230	7,920	2,049	7,667	1,991	7,126	2,101	7,110	2,181	7,449
火災出動	21	352	16	271	19	293	17	232	16	243	24	343
救急出場	1,600	4,800	1,799	5,397	1,638	4,914	1,639	5,026	1,723	5,165	1,764	5,289
救助出場	10	85	20	212	25	227	9	108	14	131	14	121
風水害	1	6	1	5	6	20	0	0	0	0	1	4
演習訓練	149	917	169	1,110	148	1,156	117	956	142	755	186	988
広報・指導	161	637	156	529	164	713	162	547	178	631	136	468
警防調査	21	56	46	149	21	87	34	143	16	57	38	94
特別警戒	4	40	3	27	6	47	5	48	3	34	4	48
誤報等	6	75	14	160	13	163	2	35	6	55	5	62
その他	101	338	6	60	9	47	6	31	3	39	9	32

種別／区分	28年		29年		30年		元年		過去10年間平均	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
合計	2,261	7,837	2,434	9,000	2,238	7,977	2,067	7,498	2,162.6	7,689.0
火災出動	10	139	19	304	15	261	17	221	17.4	265.9
救急出場	1,730	5,190	1,775	5,329	1,755	5,327	1,668	5,006	1,709.1	5,144.3
救助出場	19	148	19	182	17	172	15	125	16.2	151.1
風水害	0	0	6	14	3	10	0	0	1.8	5.9
演習訓練	214	1,219	279	2,000	175	1,220	212	1,516	179.1	1,183.7
広報・指導	109	537	164	570	100	337	80	276	141.0	524.5
警防調査	111	324	124	379	130	427	48	169	58.9	188.5
特別警戒	4	30	11	48	5	51	4	33	4.9	40.6
誤報等	4	60	3	48	6	75	3	46	6.2	77.9
その他	60	190	34	126	32	97	20	106	28.0	106.6

■ 消防水利状況

(令和2年4月1日現在)

区 分		琴 平 町	ま ん の う 町	総 数	
消 火 栓	公 設	191	428	619	
防 火 水 槽	公 設	100㎡ 以上	1	2	3
		60㎡ 以上 100㎡ 未 満		1	1
		40㎡ 以上 60㎡ 未 満	13	93	106
		40㎡ 未 満	6	3	9
		無 底			0
そ の 他	井 戸			0	
	河 川 ・ 溝 等	15		15	
	プ ー ル	4	12	16	
	濠 ・ 池 等	10		10	

# 災害統計編



中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練



## ■ 火災の概況

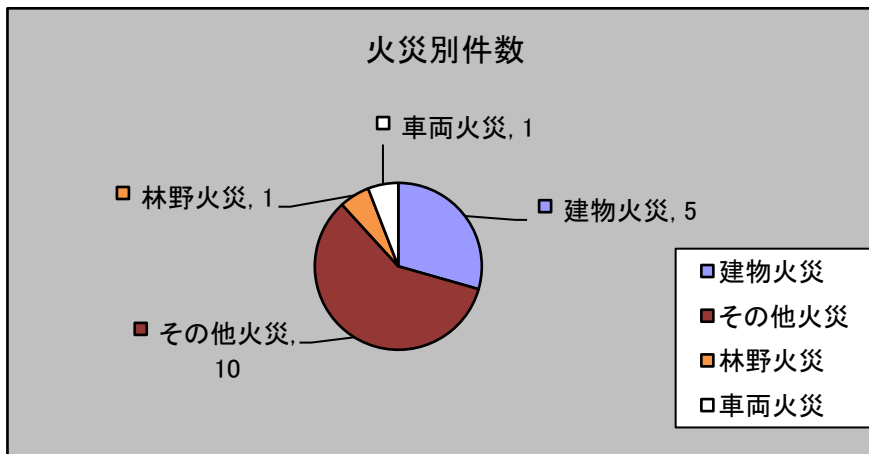
### ○ 出火件数

令和元年中の総出火件数は17件で、前年の15件に比べ2件増加しており、出火率（人口1万人当りの出火件数）は、6.3件となっている。

町別件数をみると、琴平町1件（5.9%）、まんのう町16件（94.1%）となっている。

火災種類別の構成でみると、建物火災5件（29.4%）と最も多く、次いでその他火災10件（58.8%）、林野火災1件（5.9%）、車両火災1件（5.9%）となっている。

また、月平均にすると、1.41件の出火となっている。



### ○ 死傷者

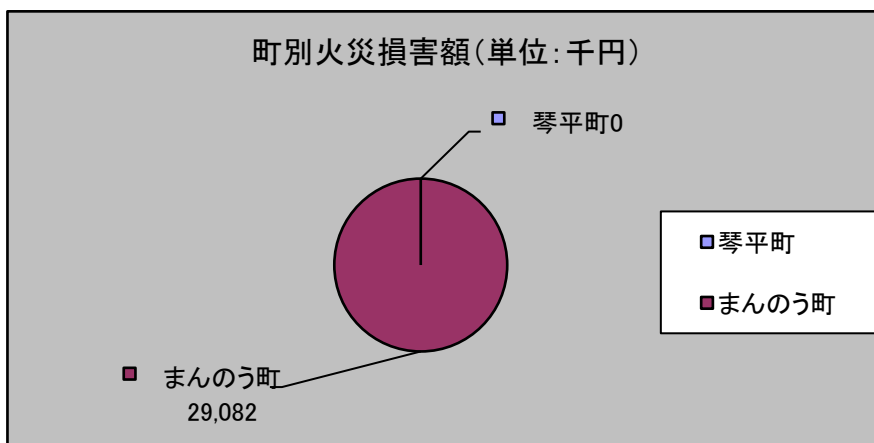
火災による死者は1人（前年0人）で、前年に比べ1人増加している。

また、負傷者は2人（前年0人）で、前年に比べ2人増加している。

### ○ 損害額

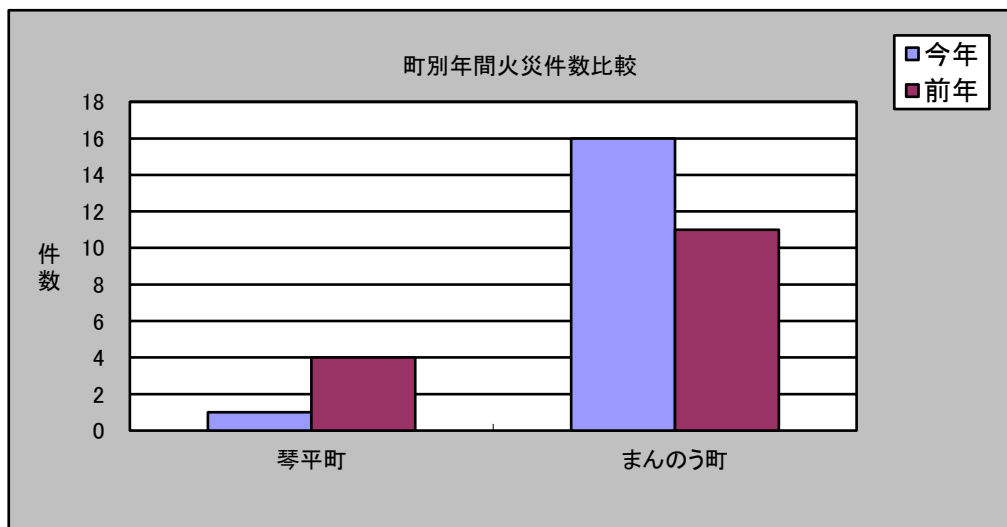
火災による損害額は29,082千円で、前年の49,432千円に比べ、20,350千円減少している。町別にみると、琴平町0千円（0%）、まんのう町29,082千円（100%）となっている。

また、1日の平均損害額は79,676円となっており、住民1人当り損害額は、1,079円となっている。



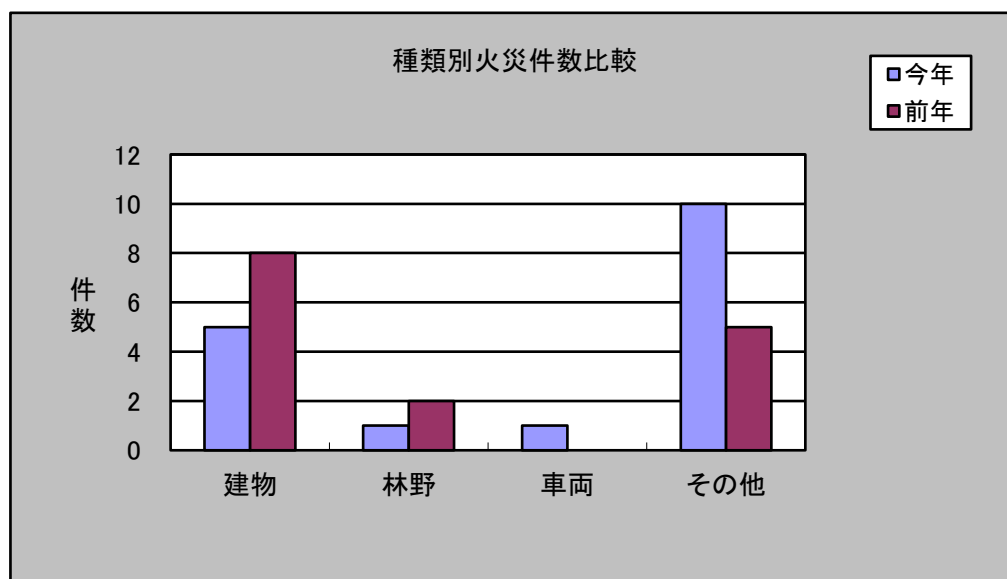
## ■ 町別・月別火災件数

町別 / 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
琴平町	1												1	4
まんのう町			1	4	3				2	3	1	2	16	11
計	1	0	1	4	3	0	0	0	2	3	1	2	17	15



## ■ 種類別・月別火災件数

種別 / 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
建物火災			1	1					1	1		1	5	8
林野火災												1	1	2
車両火災				1									1	0
その他火災	1			2	3				1	2	1		10	5
計	1	0	1	4	3	0	0	0	2	3	1	2	17	15

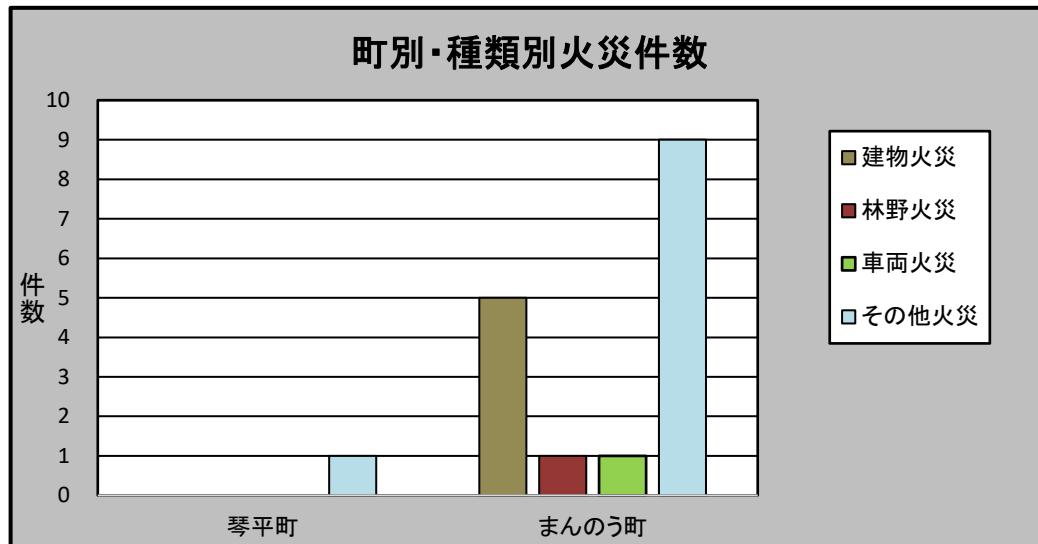


■ 町別の火災概況

区 分 / 町 別			琴 平 町	まんのう町	計
全 火 災 件 数			1	16	17
建 物 火 災	住 宅	(件)		5	5
	併 用 住 宅	(件)			0
	共 同 住 宅	(件)			0
	工 場	(件)			0
	倉 庫・納 屋	(件)			0
	そ の 他	(件)			0
小 計		(件)	0	5	5
林 野 火 災		(件)		1	1
車 両 火 災		(件)		1	1
航 空 機 火 災		(件)			0
そ の 他 火 災		(件)	1	9	10
焼 損 面 積	建 物	床 面 積	(㎡)	422.59	422.59
		表 面 積	(㎡)	0.1	0.1
	林 野	(a)		0.17	0.17
焼 損 棟 数		(棟)		5	5
り 災 世 帯		(世帯)		5	5
り 災 人 員		(人)		13	13
死 者		(人)		1	1
負 傷 者		(人)		2	2
損 害 額		(千円)		29,082	29,082

## ■ 町別・種類別火災件数

種別/町別	琴平町	まんのう町	計
建物火災		5	5
林野火災		1	1
車両火災		1	1
その他火災	1	9	10
計	1	16	17



## ■ 町別・月別火災損害額

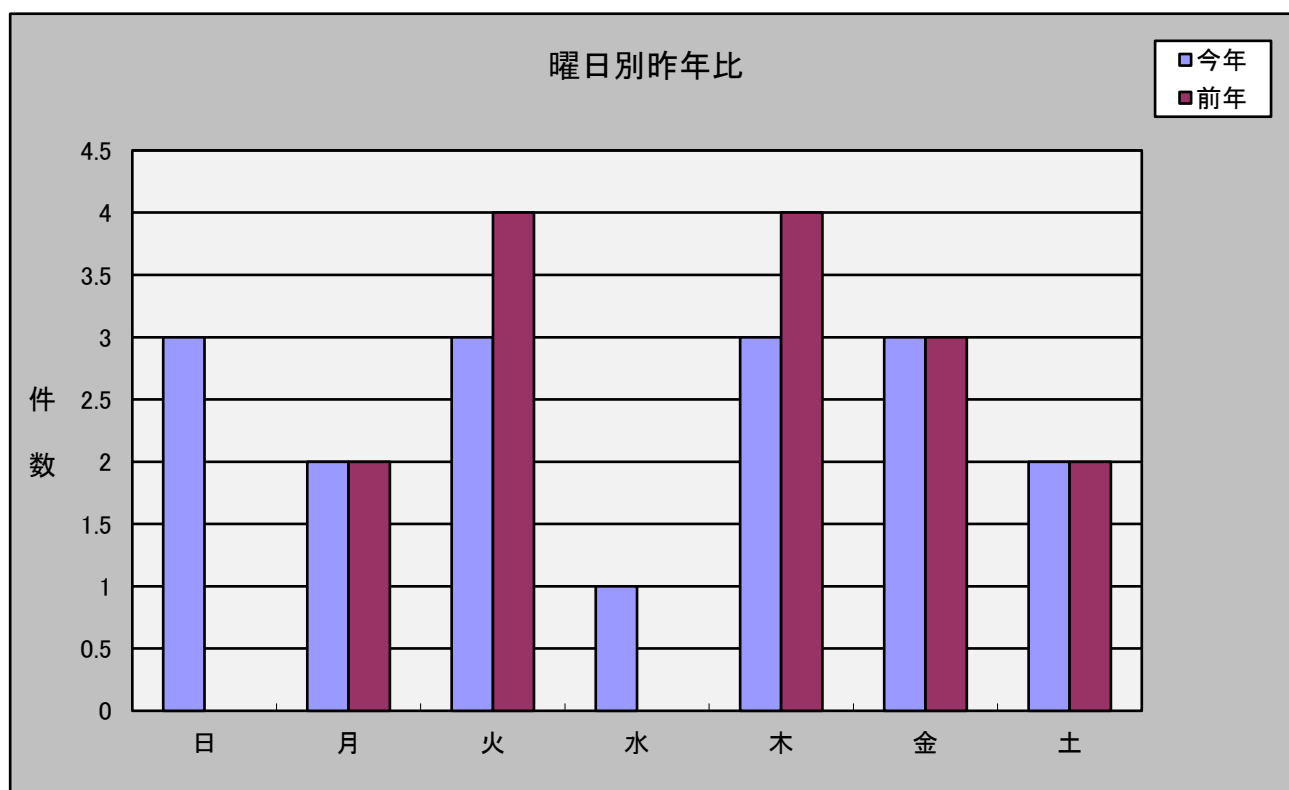
(単位：千円)

月別/町別	琴平町	まんのう町	計	前年
1月			0	2,847
2月			0	2,848
3月		16,490	16,490	321
4月		2,202	2,202	0
5月			0	0
6月			0	2,459
7月			0	4,095
8月			0	36,862
9月		2,313	2,313	0
10月		8,073	8,073	0
11月			0	0
12月		4	4	0
計	0	29,082	29,082	49,432



■ 曜日別・月別火災件数

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
日					1					1		1	3	0
月	1		1										2	2
火				1						1		1	3	4
水					1								1	0
木					1				1	1			3	4
金				1					1		1		3	3
土				2									2	2
計	1	0	1	4	3	0	0	0	2	3	1	2	17	15



## ■ 火災の比較概要

区 分		年 別	単 位	令和元年	平成30年	前年比較
全 火 災	件 数	件		17	15	2
	損 害 額	千円		29,082	49,432	△ 20,350
内	建物火災	件 数	件	5	8	△ 3
		焼損床面積	m <sup>2</sup>	422.59	474.66	△ 52.07
		焼損表面積	m <sup>2</sup>	0.1	13.2	△ 13.10
		損 害 額	千円	26,890	45,337	△ 18,447
訳	林野火災	件 数	件	1	2	△ 1
		焼 損 面 積	a	0.17	9.4	△ 9.2
		損 害 額	千円			0
訳	車両火災	件 数	件	1		1
		損 害 額	千円	2,192		2,192
訳	その他火災	件 数	件	10	5	5
		損 害 額	千円	0	4,095	△ 4,095
焼 損 棟 数			棟	5	10	△ 5
り 災 世 帯 数			世帯	5	4	1
り 災 人 員			人	13	8	5
死 者			人	1		1
負 傷 者 数			人	2		2
出火率(人口1万人当り)			件	6.3	5.5	0.8
火災1件平均損害額			千円	1,710	3,295	△ 1,585
建物火災1件平均損害額			千円	5,378	5,667	△ 289
建物火災1件平均焼損面積			m <sup>2</sup>	84.51	59.33	25.2
1ヶ月平均火災件数			件	1.41	1.25	0.16

## ■ 過去10年間火災の推移

種 別		年 別		22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	過去10年 間の平均
		件 数	件	21	16	19	17	16	24	10	19	15	17	17.4
全 火 災	損 害 額	千円	33,863	28,671	52,124	14,987	56,889	87,745	13,119	41,598	49,432	29,082	40,751	
	内													
建 物 火 災	件 数	件	10	8	7	5	7	12	6	10	8	5	7.8	
	焼損床面積	m <sup>2</sup>	777	1,001	739	288	715	1,070	419	2,059	475	422	796.5	
	焼損表面積	m <sup>2</sup>	12	16	70		1	62	16	112	13	0.1	30.3	
	損 害 額	千円	30,652	28,493	51,971	14,411	56,882	87,379	13,119	41,386	45,337	26,890	39,652	
林 野 火 災	件 数	件	2		2		1	1	3	1	2	1	1.3	
	焼損面積	a	4		1		30		3	5	9	0.2	5.2	
	損 害 額	千円											0	
車 両 火 災	件 数	件	3	2	1	2		3		4		1	1.6	
	損 害 額	千円	1,555	70	136	576		363		211		2,192	510	
そ の 他 火 災	件 数	件	6	6	9	10	8	8	1	4	5	10	6.7	
	損 害 額	千円	1,656	108	17		7	3		1	4,095		589	
焼 損 棟 数		棟	14	14	11	6	10	17	8	18	10	5	11.3	
り 災 世 帯 数		世帯	5	15	5	2	8	10	5	9	4	5	6.8	
り 災 人 員		人	17	27	18	4	18	21	8	22	8	13	15.6	
死 者		人	1	1		1			1	2		1	0.7	
負 傷 者 数		人		3	1	1	2	2		6		2	1.7	
出火率(人口1万人当り)		件	6.9	5.5	6.3	5.7	5.3	8.3	3.5	6.7	5.5	6.3	6.0	
火 災 1 件 平 均 損 害 額		千円	1,613	1,792	2,743	882	3,556	3,655	1,311	2,189	3,295	1,710	2,275	
建 物 火 災 1 件 平 均 損 害 額		千円	3,065	3,562	7,424	2,882	8,126	7,280	2,186	4,138	5,667	5,378	4,971	
建 物 火 災 1 件 平 均 焼 損 面 積		m <sup>2</sup>	77.7	125.2	115.5	57.6	102.1	89.0	70.0	205.9	59.3	84.5	98.7	
1 ヶ 月 平 均 火 災 件 数		件	1.75	1.33	1.58	1.42	1.33	2.00	0.83	1.58	1.25	1.41	1.4	

■ 過去10年間出火原因の推移

出火原因	年別	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	過去10年間の平均
たばこ			2		1	2	2		1	1	2	1.1
こんろ		3					3	2	3	1	1	1.3
かまど												0.0
風呂かまど				1				1				0.2
炉												0.0
焼却炉		1										0.1
ストーブ					1		1					0.2
ボイラー												0.0
煙突・煙道										1	1	0.2
排気管												0.0
電気機器						2			2	1		0.5
電気装置							2	2				0.4
電灯・電話等の配線					1	2	2			2		0.7
内燃機関		3	1		1							0.5
配線器具		2	1									0.3
火遊び			1									0.1
マッチ・ライター		2		2	2		1					0.7
たき火		1	2	1		1		1	1	3	1	1.1
溶接機・切断機		1					1					0.2
灯火		1			1		1		1			0.4
衝突の火花												0.0
取灰			2						1			0.3
火入れ			1	6	4	2	7	3	2	3	7	3.5
放火			1		1				1		1	0.4
放火の疑い		1	2									0.3
その他		1	1	6	4	5	2		4	2	2	2.7
不明・調査中		5	2	3	1	2	2	1	3	1	2	2.2
合計		21	16	19	17	16	24	10	19	15	17	17.4

## ■ 救急統計

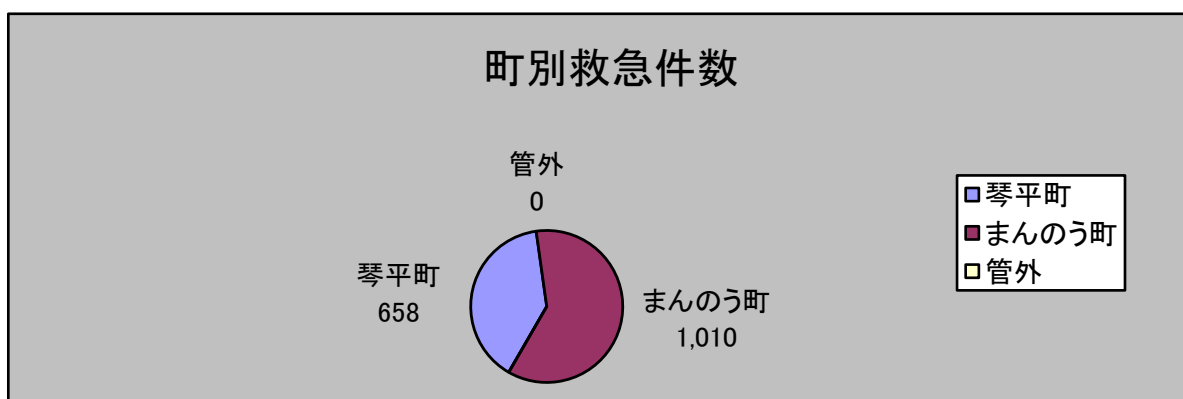
### 救急概要

#### ○ 救急出場件数及び搬送人員

令和元年中における救急出場件数は1,668件（前年1,755件）で、前年に比べ87件減少し、搬送人員は1,600人（前年1,698人）で前年に比べ98人減少している。

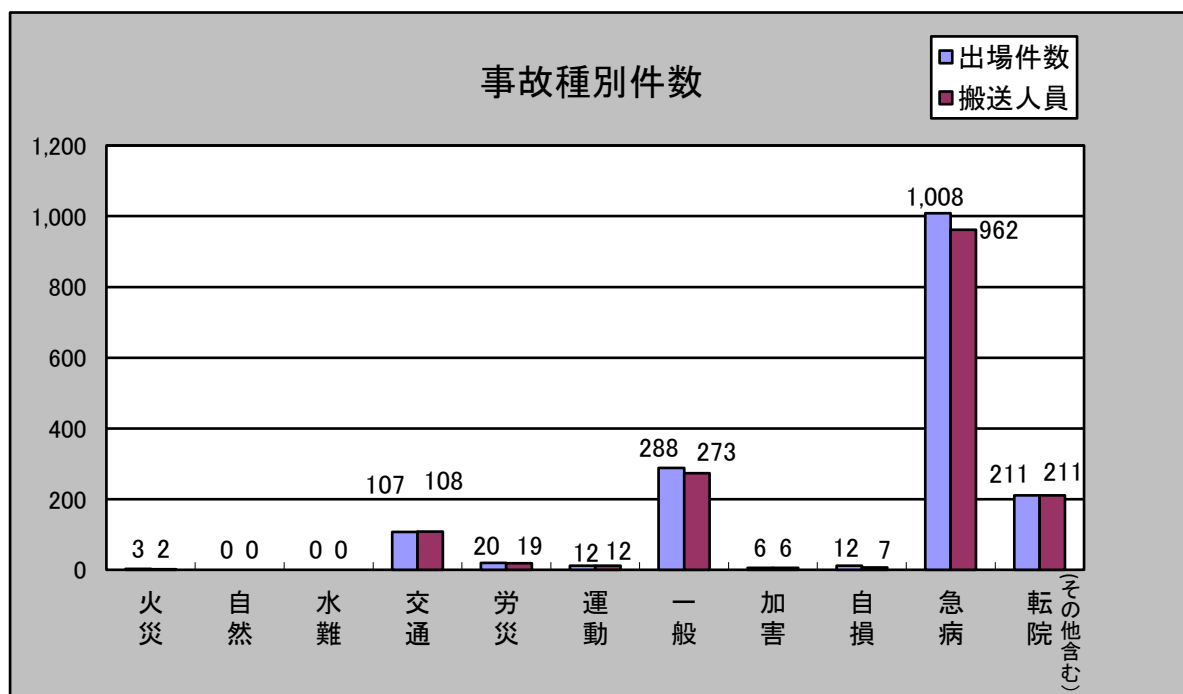
町別出場件数をみると、琴平町658件（39.4%）、まんのう町1,010件（60.6%）管外0件（0%）となっている。

また、1日の平均出場件数は、約4.5件となっている。



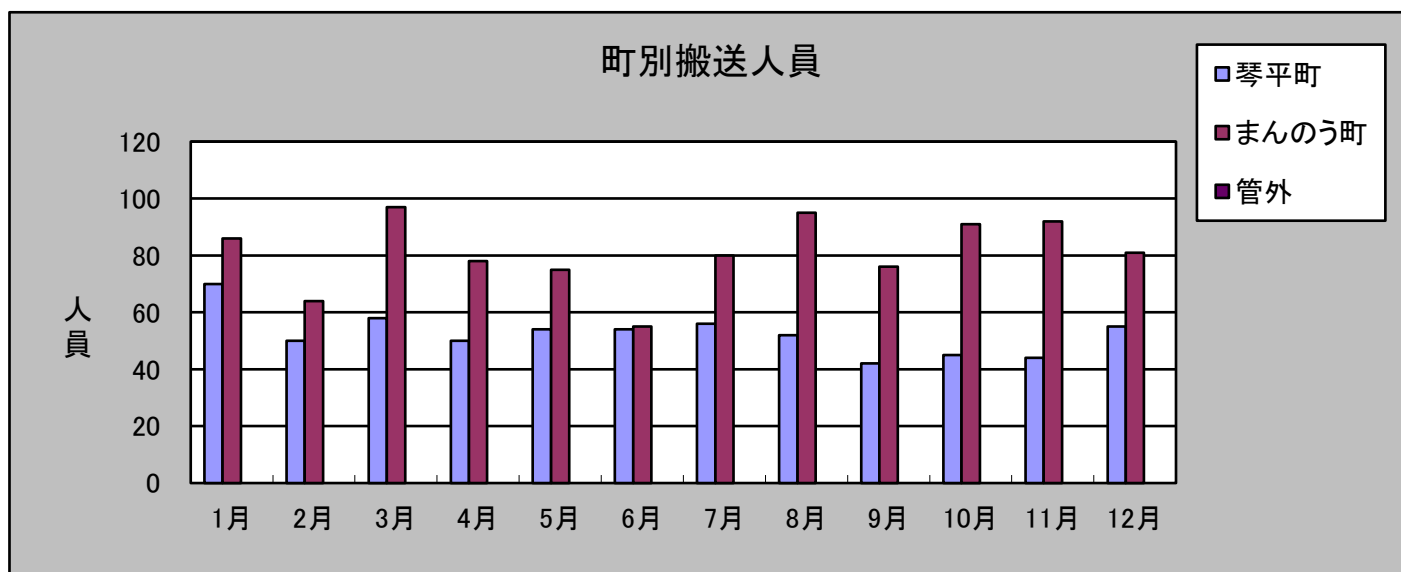
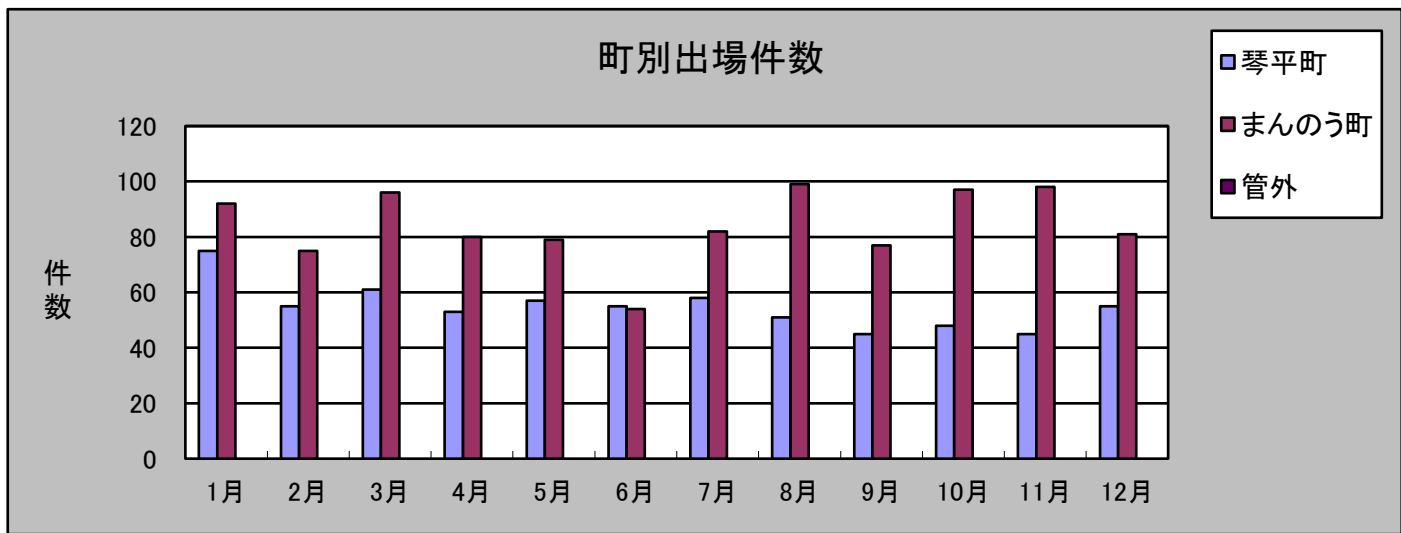
#### ○ 事故種別件数及び搬送人員

事故種別件数及び搬送人員は、いずれも第1位が急病（1,008件、962人）、第2位が一般負傷（288件、273人）、第3位が転院（211件、211人）、第4位が交通（107件、108人）、以下、労災、運動、自損、加害の順となっている。



## ■ 町別救急件数

町別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
琴平町	出場件数	75	55	61	53	57	55	58	51	45	48	45	55	658	693
	搬送人員	70	50	58	50	54	54	56	52	42	45	44	55	630	677
まんのう町	出場件数	92	75	96	80	79	54	82	99	77	97	98	81	1,010	1,081
	搬送人員	86	64	97	78	75	55	80	95	76	91	92	81	970	1,031
管外	出場件数													0	1
	搬送人員													0	1
計	出場件数	167	130	157	133	136	109	140	150	122	145	143	136	1,668	1,775
	搬送人員	156	114	155	128	129	109	136	147	118	136	136	136	1,600	1,709



## ■ 事故種別救急件数

種別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
火災	出場件数			2							1			3	0
	搬送人員			2										2	0
自然災害	出場件数													0	1
	搬送人員													0	1
水難	出場件数													0	0
	搬送人員													0	0
交通事故	出場件数	13	7	9	6	3	7	14	11	7	12	10	8	107	136
	搬送人員	13	6	11	7	3	8	13	12	6	11	10	8	108	144
労働災害	出場件数			3	1	2	3	5	1	2	1	1	1	20	22
	搬送人員			3	1	2	3	5	1	2		1	1	19	22
運動競技	出場件数			2			2	1	1	4	1		1	12	10
	搬送人員			2			2	1	1	4	1		1	12	9
一般負傷	出場件数	30	24	23	18	20	16	23	33	16	31	24	30	288	309
	搬送人員	26	21	22	17	18	16	22	32	15	30	24	30	273	301
加害	出場件数	1	1	1	1						1		1	6	2
	搬送人員	1	1	1	1						1		1	6	2
自損行為	出場件数		2		2			1	1		1	3	2	12	13
	搬送人員				2			1	1		1		2	7	5
急病	出場件数	105	81	99	80	98	69	75	89	72	84	81	75	1,008	1,012
	搬送人員	98	72	96	75	93	68	73	86	70	79	77	75	962	965
その他 (転院含む)	出場件数	18	15	18	25	13	12	21	14	21	13	24	18	212	250
	搬送人員	18	14	18	25	13	12	21	14	21	13	24	18	211	249
合計	出場件数	167	130	157	133	136	109	140	150	122	145	143	136	1,668	1,775
	搬送人員	156	114	155	128	129	109	136	147	118	136	136	136	1,600	1,709

■ 不搬送件数状況

事故種別／理由	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酩酊	死亡	現場処置	誤報・いたずら	その他	計	前年
火災					1				1	0
自然災害									0	0
水難									0	0
交通事故		2	3		1	2			8	9
労働災害			1						1	0
運動競技									0	1
一般負傷		2	10		3			1	16	10
加害									0	0
自損行為					5				5	8
急病	6	2	24		15			1	48	48
その他 (転院搬送含む)									0	1
合計	6	6	38	0	25	2	0	2	79	77

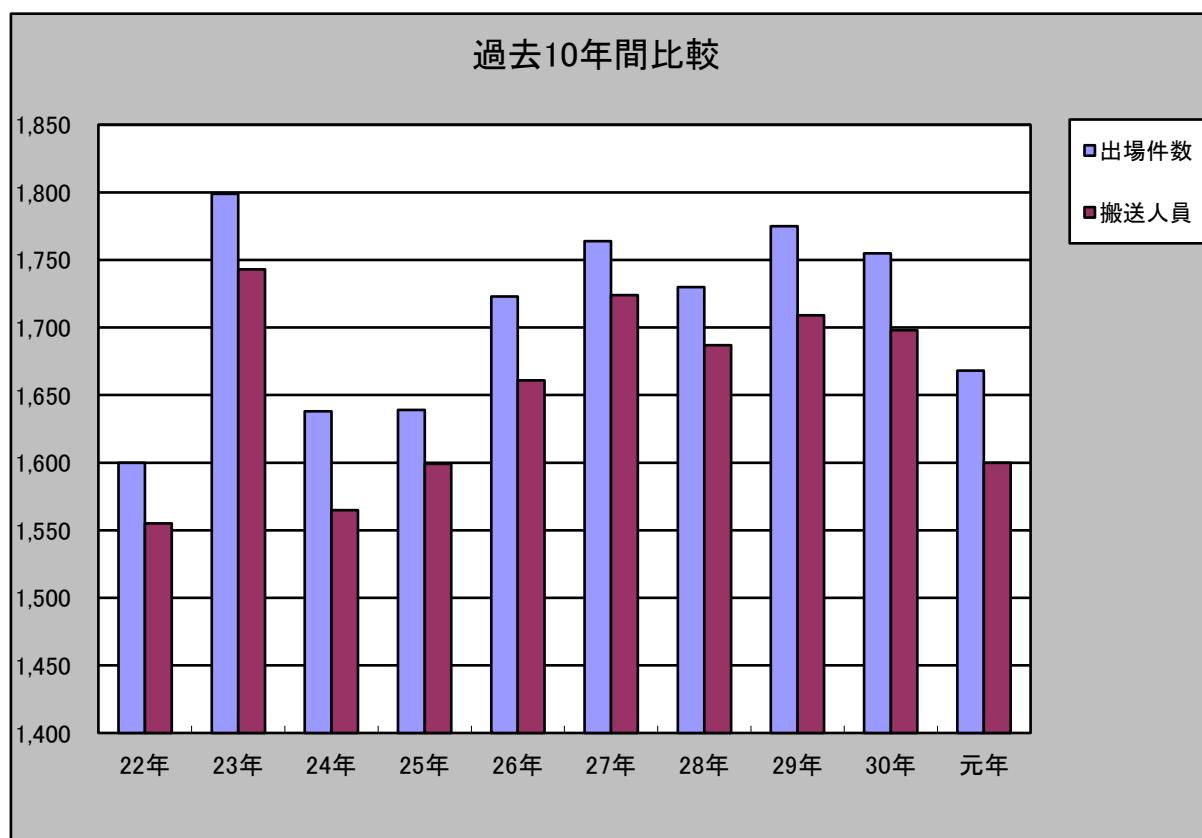


■ 現場到着及び収容所要時間状況

所要時間／事故種別		急病	交通	一般負傷	その他	合計	
現場到着所要時間	3分未満	54	4	10	2	70	
	3分以上5分未満	225	16	46	81	368	
	5分以上10分未満	589	69	178	149	985	
	10分以上20分未満	130	15	52	32	229	
	20分以上	9	3	3	1	16	
合計		1,007	107	289	265	1,668	
現場到着最短所要時間		0分	0分	0分	2分		
現場到着最長所要時間		35分	51分	34分	33分		
現場到着平均所要時間		6.5分	7.4分	7.2分	6.2分		
所要時間／事故種別		急病	交通	一般負傷	その他	合計	
医療機関等への収容所要時間	10分未満					0	
	(内管外)					0	
	10分以上20分未満	9	0	1	3	13	
	(内管外)	1	0	0	1	2	
	20分以上30分未満	125	8	29	49	211	
	(内管外)	84	4	20	49	157	
	30分以上60分未満	761	88	222	194	1,265	
	(内管外)	706	83	206	174	1,169	
	60分以上120分未満	65	11	22	11	109	
	(内管外)	57	11	18	8	94	
	120分以上	1	1			2	
	(内管外)	1	1			2	
	合計		961	108	274	257	1,600
	(内管外)		849	99	244	232	1,424
収容最短所要時間		12分	21分	18分	15分		
収容最長所要時間		1時間20分	2時間53分	1時間43分	1時間41分		
収容平均所要時間		40.8分	45.4分	41.9分	37分		

■ 過去10年間の町別救急推移

町別		年別										過去10年間の平均
		22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	
琴平町	出場件数	614	690	626	653	668	656	684	693	700	658	664.2
	搬送人員	585	659	591	628	630	639	673	677	658	630	637.0
まんのう町	出場件数	984	1,109	1,008	983	1,048	1,108	1,043	1,081	1,055	1,010	1,042.9
	搬送人員	968	1,084	970	968	1,021	1,085	1,010	1,031	1,040	970	1,014.7
管外	出場件数	2		4	3	7		3	1			2.0
	搬送人員	2		4	3	10		4	1			2.4
計	出場件数	1,600	1,799	1,638	1,639	1,723	1,764	1,730	1,775	1,755	1,668	1,709.1
	搬送人員	1,555	1,743	1,565	1,599	1,661	1,724	1,687	1,709	1,698	1,600	1,654.1



■ 過去10年間の事故種別救急推移

事故種別		年別										過去10年間の平均
		22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	
火災	出場件数		3	1	3	1	1		2		3	1.4
	搬送人員		3	1	3	2	1		1		2	1.3
自然災害	出場件数									1		0.1
	搬送人員									1		0.1
水難	出場件数			1		1	2		2			0.6
	搬送人員			0		0	0		1			0.1
交通事故	出場件数	167	182	167	138	152	157	135	140	136	107	148.1
	搬送人員	177	204	170	153	163	171	139	147	144	108	157.6
労働災害	出場件数	10	15	16	17	14	13	19	20	22	20	16.6
	搬送人員	10	15	16	18	15	13	19	19	22	19	16.6
運動競技	出場件数	7	8	4	6	10	14	8	14	10	12	9.3
	搬送人員	8	8	4	6	10	14	8	14	9	12	9.3
一般負傷	出場件数	256	306	307	277	295	276	278	317	309	288	290.9
	搬送人員	248	295	298	273	284	266	273	307	301	273	281.8
加害	出場件数	8	8	6	5	6	9	3	5	2	6	5.8
	搬送人員	8	7	6	4	7	10	3	4	2	6	5.7
自損行為	出場件数	13	20	8	11	14	10	9	10	13	12	12.0
	搬送人員	9	14	3	8	10	5	6	7	5	7	7.4
急病	出場件数	936	994	919	983	999	1,056	1,043	1,067	1,012	1,008	1,001.7
	搬送人員	893	936	858	936	943	1,019	1,007	1,015	965	962	953.4
その他 (転院含む)	出場件数	203	263	209	199	231	226	235	198	250	212	222.6
	搬送人員	202	261	209	198	227	225	232	194	249	211	220.8
計	出場件数	1,600	1,799	1,638	1,639	1,723	1,764	1,730	1,775	1,755	1,668	1,709.1
	搬送人員	1,555	1,743	1,565	1,599	1,661	1,724	1,687	1,709	1,698	1,600	1,654.1

## ■ 応急処置件数

事故種別 処置内容別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
応急処置人員	960	108	273	257	1,598
止血	7	8	28	13	56
固定	58	98	153	37	346
人工呼吸	9	3	2	1	15
胸骨圧迫	9	2	2		13
胸骨圧迫(自動)	9	2	1		12
心肺蘇生	11	3	2		16
心肺蘇生(自動)	6	2			8
血糖測定	10		2	1	13
エピペン投与					0
ブドウ糖投与	2				2
酸素吸入	184	24	18	78	304
気道確保(用手等)	19	3	2	3	27
気道確保1 (経鼻エアウェイ)					0
気道確保2 (喉頭鏡・鉗子等)	1				1
気道確保3 (ラリングアルマスク等)	6	3	2		11
気管挿管	2		1		3
β刺激薬投与					0
保温	346	23	93	99	561
被覆	10	14	61	12	97
在宅療法継続	2				2
除細動					0
静脈路確保(CPA前)	3	2		2	7
静脈路確保(CPA後)	7	2	1		10
アドレナリン投与	2	2			4
血圧測定	935	103	263	256	1,557
聴診器による聴取	390	67	53	107	617
血中酸素飽和度測定	946	105	270	257	1,578
心電図	905	82	213	228	1,428
その他の処置	944	99	267	255	1,565

## ■ 応急手当等の普及啓発活動

救急要請の増加の中、心停止、呼吸停止、大量出血など、一刻一秒を争う生命の重大事に、現場に居合わせた人（バイスタンダー）による応急手当が実施されれば救命効果が一層向上することから、平成8年3月に「応急手当普及啓発活動の推進に関する実施要綱」を策定し、一人でも多くの住民に応急手当等の知識を普及するため、救命講習を実施するなど、普及啓発活動を積極的に推進している。

### ○ 応急手当実施要綱に基づく講習等の状況

応急手当実施要綱に基づく講習						基礎的な講習		普及啓発用資機材の状況		
普通救命講習				上級救命講習				蘇生訓練用人数		外傷模型セット
I		II				成人用	乳児用			
受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	成人用	乳児用	
199	14					1,075	34	10	4	1

### ○ 応急手当普及啓発活動実施状況(過去5年間)

近年、AEDが公共施設に普及してきたことに伴い講習依頼が増加してきており、一般住民の救命講習の動機づけとなっている。

また、消防団員への救命講習を積極的に実施している。

年別	講習別	普通救命講習			上級救命講習	基礎的な講習	計
		I	II	III			
27年	講習回数	15		3		36	54
	受講人員	191		40		1,178	1,409
28年	講習回数	16				37	53
	受講人員	201				1,451	1,652
29年	講習回数	12				43	55
	受講人員	182				1,569	1,751
30年	講習回数	19				35	54
	受講人員	297				1,467	1,764
元年	講習回数	14				34	48
	受講人員	199				1,075	1,274

## ■ 救助統計

### 救助概要

#### ○ 救助出場件数及び救助人員

令和元年中の出場件数は、15件（前年17件）で前年より2件減少し、救助人員は16人（前年23人）で、7人減少している。

町別出場件数をみると、琴平町が2件（13.3%）、まんのう町が13件（86.7%）、管外0件（0%）となっている。

月平均出場件数は 1.3件である。

#### ○ 事故種別件数

事故種別出場件数及び救助人員は、いずれも第1位が交通で（7件、7人）、第2位がその他（6件、7人）、火災（1件、1人）、機械（1件、1人）の順となっている。

#### ○ 町別救助件数

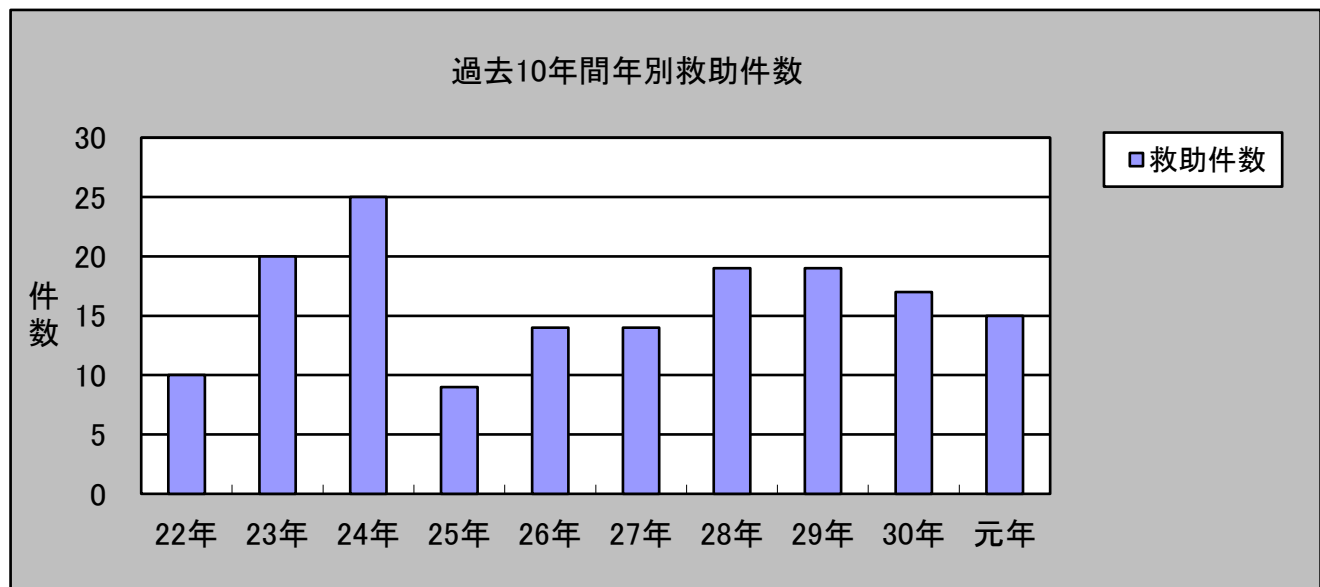
町別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
琴平町	出場件数					1			1					2	6
	救助人員					2			1					3	5
まんのう町	出場件数	2		2			1	1		1	3	2	1	13	11
	救助人員	2		2			1	1		1	3	2	1	13	18
管外	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
計	出場件数	2	0	2	0	1	1	1	1	1	3	2	1	15	17
	救助人員	2	0	2	0	2	1	1	1	1	3	2	1	16	23

■ 事故種別救助件数

種別／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年
火災	出場件数										1			1	0
	救助人員										1			1	0
交通事故	出場件数	2		1			1	1			1	1		7	13
	救助人員	2		1			1	1			1	1		7	21
水難	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
自然災害	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
機械による故	出場件数			1										1	1
	救助人員			1										1	0
建物等の故	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
ガス及び欠	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
破裂事故	出場件数													0	0
	救助人員													0	0
その他	出場件数					1			1	1	1	1	1	6	3
	救助人員					2			1	1	1	1	1	7	2
計	出場件数	2	0	2	0	1	1	1	1	1	3	2	1	15	17
	救助人員	2	0	2	0	2	1	1	1	1	3	2	1	16	21

■ 過去10年間の救助件数推移

年別 町別	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	過去10年 間の平均
琴平町	3	4	2		6	1	4	5	6	2	3.3
まんのう町	7	15	21	9	7	13	15	14	11	13	12.5
管外		1	2		1						0.4
計	10	20	25	9	14	14	19	19	17	15	16.2
火災		1		1				1		1	0.4
交通事故	5	16	18	7	10	7	9	9	13	7	10.1
水難事故		1	2		1	2					0.6
自然災害		1									0.1
機械による事故	1		2			3	2	2	1	1	1.2
建物等の事故			1								0.1
ガス及び酸欠					1						0.1
破裂事故											0.0
その他	4	1	2	1	2	2	8	7	3	6	3.6
計	10	20	25	9	14	14	19	19	17	15	16.2





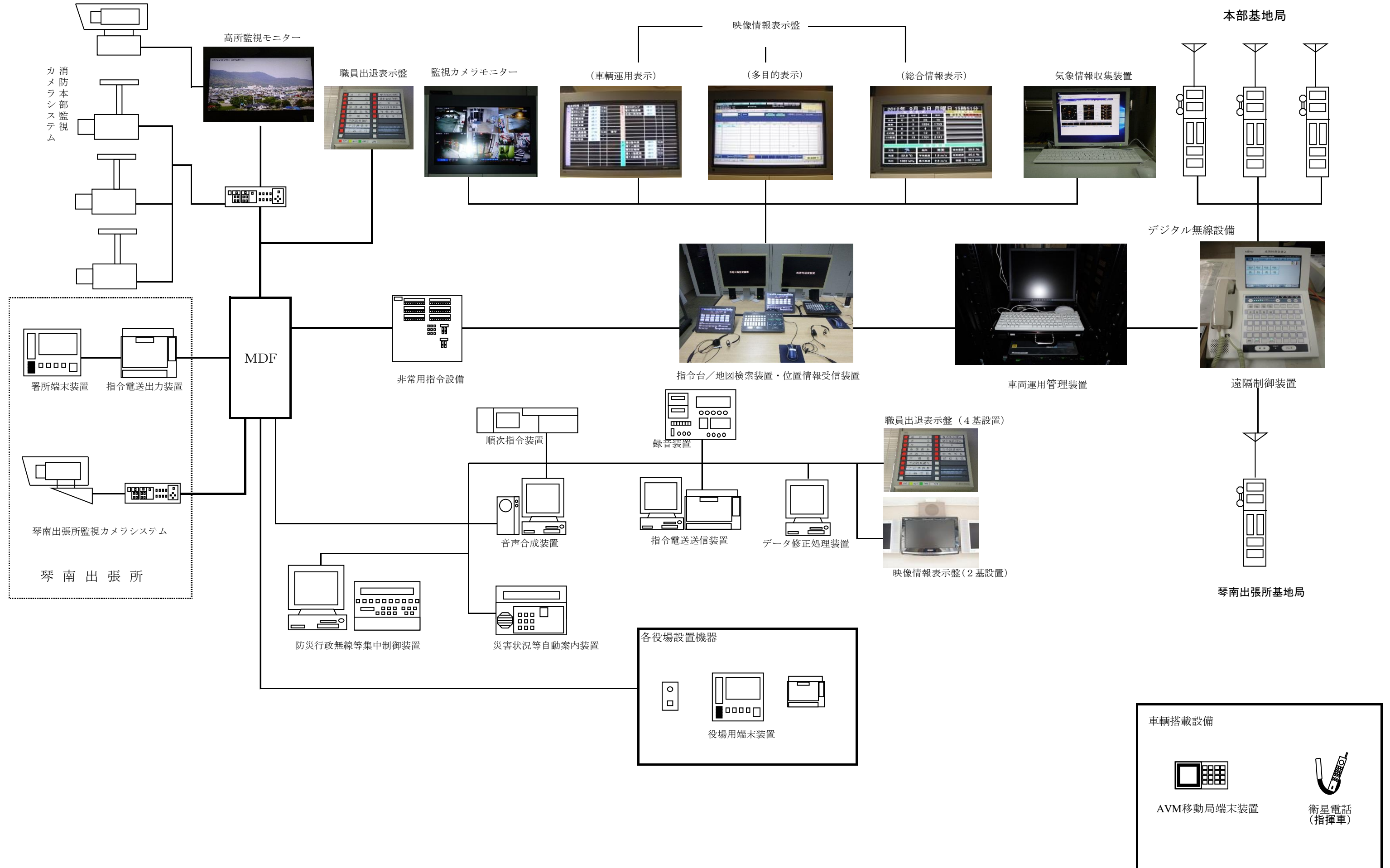
# 通信指令編



通信指令課



# 消 防 通 信 系 統 図 (令和2年4月1日現在)



○ デジタル無線関係

基地局・固定局

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防	基地局	○	○	○	○	○	○	20W	ゼネラル	H26.3	通信指令室	※1
南部消防琴南		○	○	○	○	○	○	20W	ゼネラル	H26.3	琴南出張所基地局	※2

※1 遠隔制御装置2基設置

※2 遠隔制御装置1基設置

移動局

(消防本部)

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 5	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	指令車	車載
南部消防 7	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	人員搬送車	車載
南部消防 8	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	広報車	車載
南部消防 11	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	現場指揮車	車載
南部消防 12	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	事務連絡車	車載
南部消防 30	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	現場指揮車	可搬型
南部消防 105	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	総務課	携帯
南部消防 107	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	総務課	携帯
南部消防 108	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	予防課	携帯
南部消防 111	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	警防課	携帯
南部消防 201	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	通信指令課	携帯
南部消防 202	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	通信指令課	携帯

(消防署)

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 1	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署1号車	車載
南部消防 2	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署2号車	車載
南部消防 4	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署4号車	車載
南部消防 6	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署6号車	車載
南部消防 9	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署9号車	車載
南部消防 10	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署10号車	車載
南部消防 13	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署13号車	車載
南部消防 20	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署20号車	車載
南部救急 1	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急1号車	車載
南部救急 2	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急2号車	車載
南部救急 3	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急3号車	車載

## (消防署)

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 101	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 102	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 120	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 20 号 車	携帯
南部消防 104	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 4 号 車	携帯
南部消防 106	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 6 号 車	携帯
南部消防 109	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 9 号 車	携帯
南部消防 110	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 10 号 車	携帯
南部救急 101	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	救急 1 号 車	携帯
南部救急 102	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	救急 2 号 車	携帯
南部救急 103	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	救急 3 号 車	携帯

## (琴南出張所)

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 3	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 3 号 車	車載
南部消防 21	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	署 21 号 車	車載
南部救急 4	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	10W	ゼネラル	H26.3	救急 4 号 車	車載
南部消防 103	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 3 号 車	車載
南部消防 121	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	署 21 号 車	車載
南部救急 104	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	5W	ゼネラル	H26.3	救急 4 号 車	車載

(注) デジタル無線関係周波数欄の1・2・3・4・5・6CHは次のとおり

- ・ 1CH 消防波
- ・ 2CH 救急波
- ・ 3CH 主運用波
- ・ 4CH 統制波1
- ・ 5CH 統制波2
- ・ 6CH 統制波3

○ 署活無線関係

(消防本部)

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 410	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 5 号 車	携帯
南部消防 413	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 8 号 車	携帯
南部消防 414	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 8 号 車	携帯
南部消防 417	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 11 号 車	携帯
南部消防 420	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	通信指令課	携帯

(消防署)

(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 401	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 402	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 403	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 1 号 車	携帯
南部消防 404	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 405	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 406	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 2 号 車	携帯
南部消防 407	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 受 付	携帯
南部消防 408	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 受 付	携帯
南部消防 409	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 4 号 車	携帯
南部消防 415	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 9 号 車	携帯
南部消防 416	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 9 号 車	携帯
南部消防 419	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 受 付	携帯

(琴南出張所)

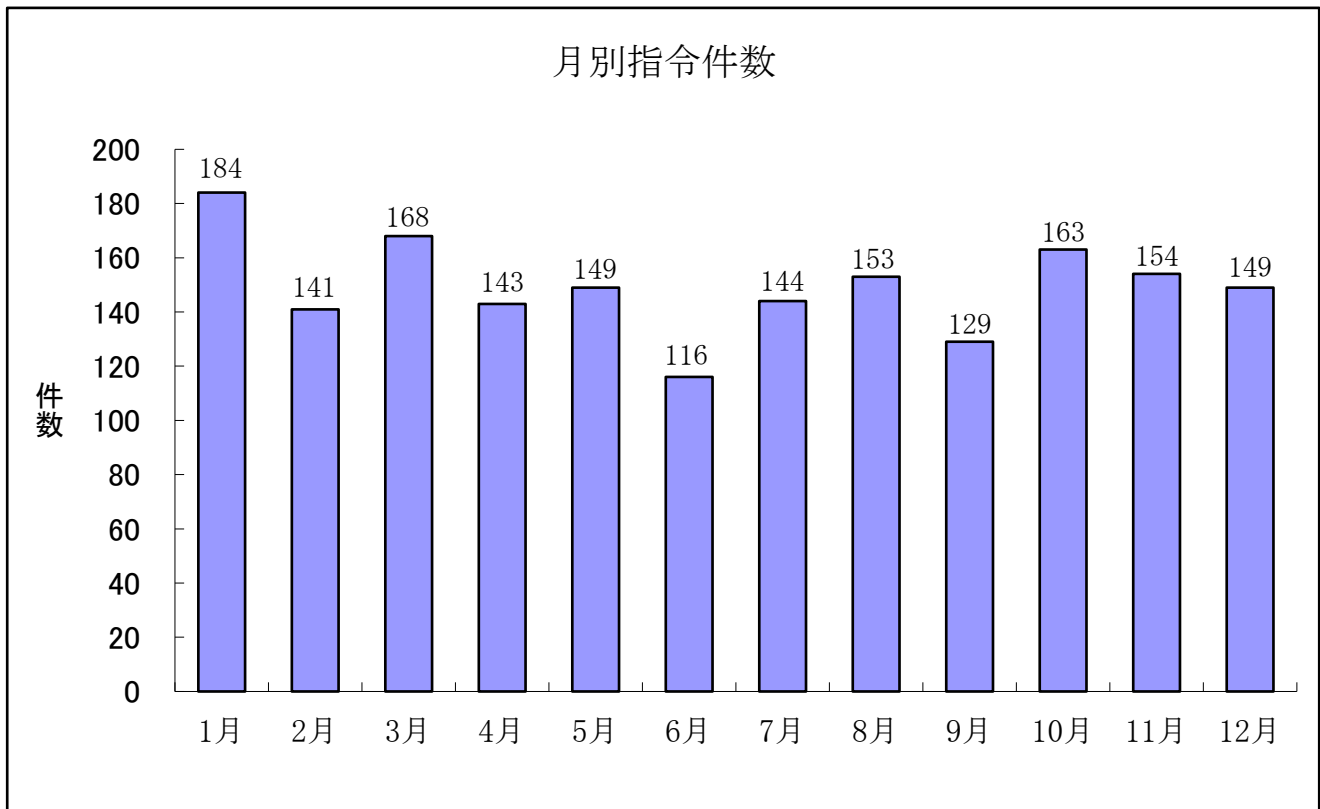
(令和2年4月1日現在)

呼出名称	局種別	周波数						出力	メーカー	購入年月日	常置場所	備考
		1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH					
南部消防 411	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 20 号 車	携帯
南部消防 412	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 21 号 車	携帯
南部消防 418	陸上移動局	○	○					1W	ゼネラル	H26.3	署 20 号 車	携帯

(注) 署活無線の交信は署活無線内に限る。

## ■ 月別指令別件数

月別 種類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年
火災	1	1	1	5	5	2	2		3	4	2	2	28	23
救急	167	128	156	133	136	109	137	149	121	147	141	137	1,661	1,743
救助	2	1	2		1	1	1	1	1	2	2	1	15	18
偵察			1							1		1	3	3
警戒													0	2
水害													0	4
救急支援	13	9	7	5	7	1		2	1	5	6	7	63	75
その他	1	2	1			3	4	1	3	4	3	1	23	34
合計	184	141	168	143	149	116	144	153	129	163	154	149	1,793	1,902



■ 119回線受付状況

区分／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年
火災等災害関係	火災	1	1	11	6	5	5			8	4	1		42	37
	自火報													0	0
	救助	2		1		1	1		1	1	3	1	1	12	10
	偵察										1		1	2	2
	警戒													0	0
	水害													0	1
	問合せ						1				1		1	3	8
	油漏れ						1			2				3	6
	小計	3	1	12	6	6	8	0	1	11	9	2	3	62	64
救急関係	救急	134	91	124	93	109	83	103	107	98	110	101	113	1,266	1,344
	話中辞退	2	1	2		2	1	3	7	1		1	2	22	21
	病院照会	10	7	5	7	5	9	7	8	9	7	3	2	79	67
	問合せ	3	3	8	5	11	5	4	10	9	5	5	4	72	74
	小計	149	102	139	105	127	98	117	132	117	122	110	121	1,439	1,506
その他	定期試験	7	11	10	2	2	2	46	6	5	9	19	5	124	168
	通報訓練	8	5	20	9	11	23	5	4	9	11	34	10	149	107
	いたずら			1	1									2	3
	応答なし	1		3	1		1		3	1			1	11	15
	まちがい	8	3	3	5	6	7	4	8	5	3	14	10	76	62
	その他	2	2	3	3	3	3	1	5	1	4	5	2	34	39
	小計	26	21	40	21	22	36	56	26	21	27	72	28	396	394
合計	178	124	191	132	155	142	173	159	149	158	184	152	1,897	2,108	

■ 119回線以外での救急入電状況

区分／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年
救急関係	加入電話	38	34	26	40	29	20	29	34	24	31	28	25	358	373
	警察	5	2	5	1	1	1	4	2	2	3	2	3	31	58
	かけ込み	3	4	4	2	4	7	1	5	4	4	7	4	49	57
	無線	1	1					2	1		6		2	13	16
	小計	47	41	35	43	34	28	36	42	30	44	37	34	451	504



## ■ 月別気象状況

気象別		月別												月平均 最高最低等
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天候 日数	晴れ	13	14	12	21	21	8	8	15	12	11	14	10	13.3
	曇り	15	10	11	7	7	18	15	9	16	14	15	17	12.8
	雨	3	4	8	2	3	4	8	7	3	6	1	4	4.4
	その他													0.0
気温 ℃	最高	11.5	15.0	10.7	27.0	31.6	31.9	33.6	35.3	33.4	29.1	23.5	16.5	35.3
	最低	-1.5	-1.3	-0.1	0.0	6.7	14.9	19.5	20.4	15.1	10.6	0.9	0.7	-1.5
	平均	5.7	6.3	9.1	13.3	19.2	22.2	25.2	27.0	24.7	19.3	12.2	8.0	16.0
湿度 %	最小	32.5	25.8	16.1	16.9	4.9	30.8	47.4	45.5	41.9	30.2	33.0	37.4	4.9
	平均	63.8	69.4	66.4	64.0	60.2	74.2	83.8	81.1	79.1	77.9	73.8	73.9	72.3
風速 m	最大	19.7	15.0	24.0	18.6	15.0	20.0	15.4	20.5	29.5	16.3	18.2	19.0	29.5
	平均	3.0	2.4	3.0	2.7	2.7	2.5	2.1	2.7	2.1	2.4	2.5	2.4	2.5
降水量	降雨日数	3	5	12	10	5	7	16	11	3	8	5	6	7.6
	降雨量 mm	27.0	43.0	80.0	63.0	40.5	126.5	187.5	90.0	47.0	65.5	29.0	52.0	70.9
	最大日雨量	15.0	19.0	22.0	15.5	18.5	43.5	52.0	16.0	16.5	32.0	19.0	13.0	52.0

測定地 消防本部

備考 天候日数は、午前9時現在で測定したもの。  
 気温・湿度は、毎月の極値を表したものの。  
 湿度は、相対湿度を表したものの。  
 最大風速は、毎月の最大瞬間風速を表したものの。  
 降雨日数は、日雨量2.0mm以上の日数を表したものの。  
 降雨量は、毎月の合計を表したものの。

令和元年中の主な記録

気温 年平均気温は、16.0℃ 湿度 年平均湿度は72.3%  
 最高気温は、8月2日の35.3℃ 最小湿度は、5月4日の4.9%  
 最低気温は、1月10日の-1.5℃

風速 年平均風速は、2.5m/s  
 最大風速は、9月23日の29.5m/s

雨量 年間降水量は、851.0mmで年間を通じて最も降水量の多い月は7月の187.5mm  
 最大日雨量では、7月19日の52.0mm

■ 気象注意報・警報・情報等状況

区分/月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年	
注 意 報	強風	8	2	5	3		6	3	7	2	6	4	5	51	52	
	波浪													0	0	
	大雨							6						6	19	
	洪水							2						2	10	
	濃霧	2	1	2	3	2		2	1				4	17	12	
	乾燥	8		3	12	18					1			42	70	
	霜		1	13	7									21	20	
	風雪	2												2	5	
	雷	3	2	11	4	4	14	26	20	15	10	3	2	114	100	
	異常低温														0	0
	大雪	2	1												3	14
	着雪														0	0
小計	25	7	34	29	24	20	39	28	17	17	7	11	258	302		
警 報	暴風雨													0	0	
	大雨													0	5	
	波浪													0	0	
	洪水													0	4	
	暴風													0	7	
	暴風雪													0	0	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16		
情 報	火災気象	8		9	5	12	1		2	1	2	1	5	46	55	
	大雨						11	7		2				20	14	
	小雨													0	0	
	低気圧													0	0	
	大雪	6	3											9	32	
	台風							4	5	6	3			18	40	
	地震	1				1								2	13	
	梅雨													0	0	
	強風	1		4			15		7			1	1	29	16	
	雪													0	3	
	大雨と強風													0	0	
	雷			15		4	6	4	7		4	3		43	15	
	土砂災害													0	2	
その他			15	1	5	2							23	20		
小計	16	3	43	6	22	35	15	21	9	9	5	6	190	210		
合計	41	10	77	35	46	55	54	49	26	26	12	17	448	528		

# 消防団等資料



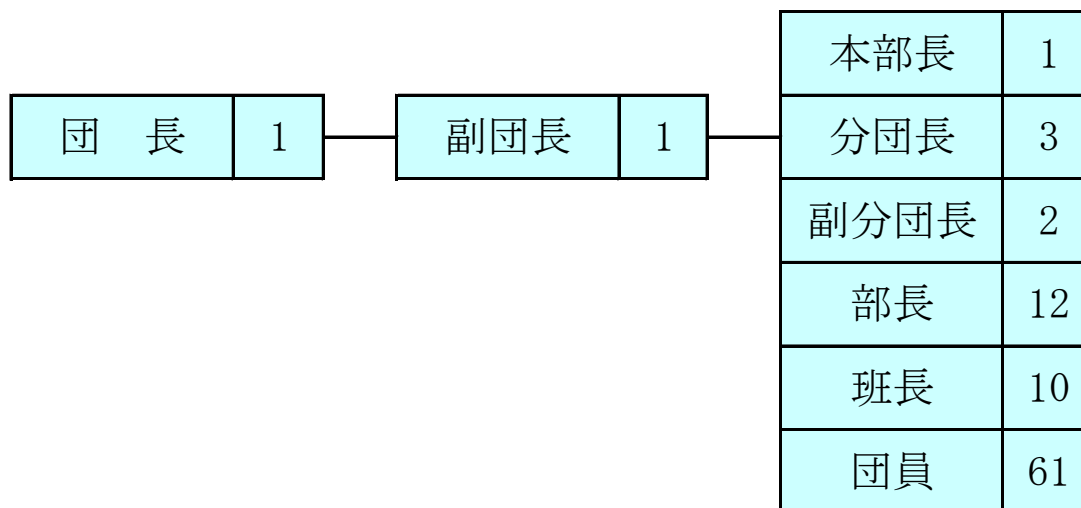
消防団幹部研修会



■ 消防団組織図 (令和2年4月1日現在)

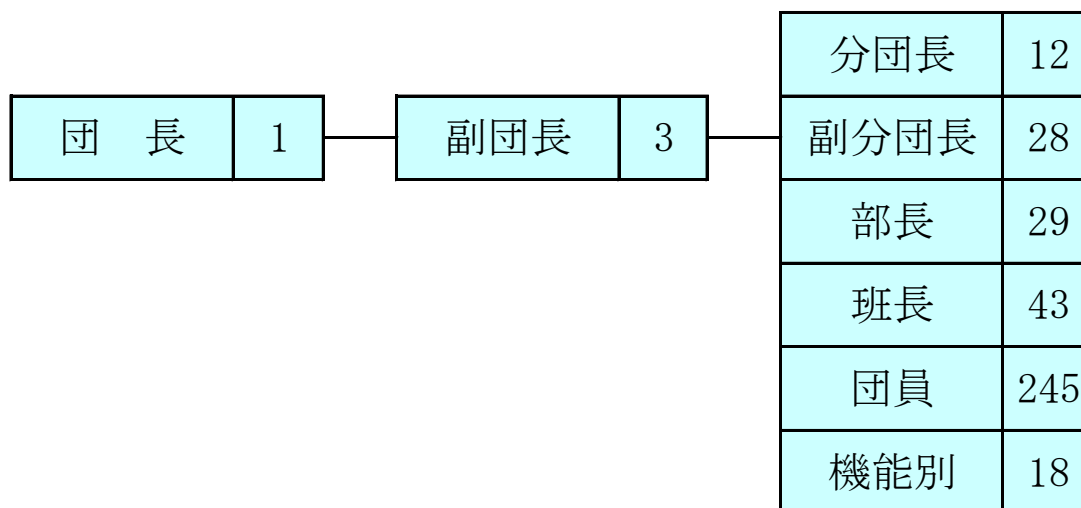
○琴平町消防団

団長以下91名



○まんのう町消防団

団長以下379名



■ 消防団員及び報酬等の状況

(単位：円)

町別		琴平町		まんのう町		合計
		団員数	報酬額	団員数	報酬額	団員数
実員計		91		379		470
団長		1	82,500	1	100,000	2
副団長		1	69,000	3	82,000	4
分団長		4	50,500	12	60,000	16
副分団長		2	45,500	28	46,000	30
部長		12	40,000	29	37,500	41
班長		10	39,000	43	37,500	53
団員		61	38,000	245	36,500	306
機能別		0	0	18	0	18
条例定数		100		407		507
水防団員兼務者		91		379		470
出動手当	水火災	1回	3,000	1回	2,500	
	警戒	1回	3,000	1回	1,500	
	訓練	1回	3,000	1回	1,500	

■ 在職年数別消防団員数

(令和2年4月1日現在)

町別		琴平町		まんのう町		合計
		年数別	年数別	年数別	年数別	年数別
計		91		379		470
5年未満		28		60		88
5年以上10年未満		22		45		67
10年以上15年未満		8		106		114
15年以上20年未満		6		65		71
20年以上25年未満		11		38		49
25年以上30年未満		14		27		41
30年以上		2		38		40

■ 消防団現有消防車両等

(令和2年4月1日現在)

種 別	町 別		計
	琴 平 町	まんのう町	
消防ポンプ自動車	4	1	5
小型ポンプ積載車	2	27	29
多 機 能 車		1	1
小型ポンプ (B級)	2	16	18
小型ポンプ (C級)		11	11

■ 消防団出動状況

種別	町別		まんのう町		計	
	出動回数	出動延人員	出動回数	出動延人員	出動回数	出動延人員
火 災			17	338	17	338
風 水 害			1	1	1	1
演 習 訓 練	16	344	53	977	69	1,321
広 報 指 導			33	568	33	568
警 防 調 査					0	0
火 災 調 査					0	0
特 別 警 戒	12	310	8	438	20	748
捜 索			1	72	1	72
予 防 査 察					0	0
誤 報 等			12	35	12	35
そ の 他	47	991	19	171	66	1,162
計	75	1,645	144	2,600	219	4,245





## 消防年報(令和元年版)

令和2年8月 発行

編集・発行 仲多度南部消防組合  
消 防 本 部  
総 務 課 企 画 係

〒766-0003 香川県仲多度郡琴平町五条 313 番地

TEL 0877 (73) 4211

FAX 0877 (73) 4770

ホームページアドレス <http://www.nakatado-fd.jp>

e-mail	nfd@nakatado-fd.jp	TEL
総務課	nfd-soumu@nakatado-fd.jp	0877 (73) 3095
予防課	nfd-yobo@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4974
警防課	nfd-keibou@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4973
通信指令課	nfd-tusin@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4972
救急隊	nfd-kyukyu@nakatado-fd.jp	0877 (73) 4212